FORIS.TV®

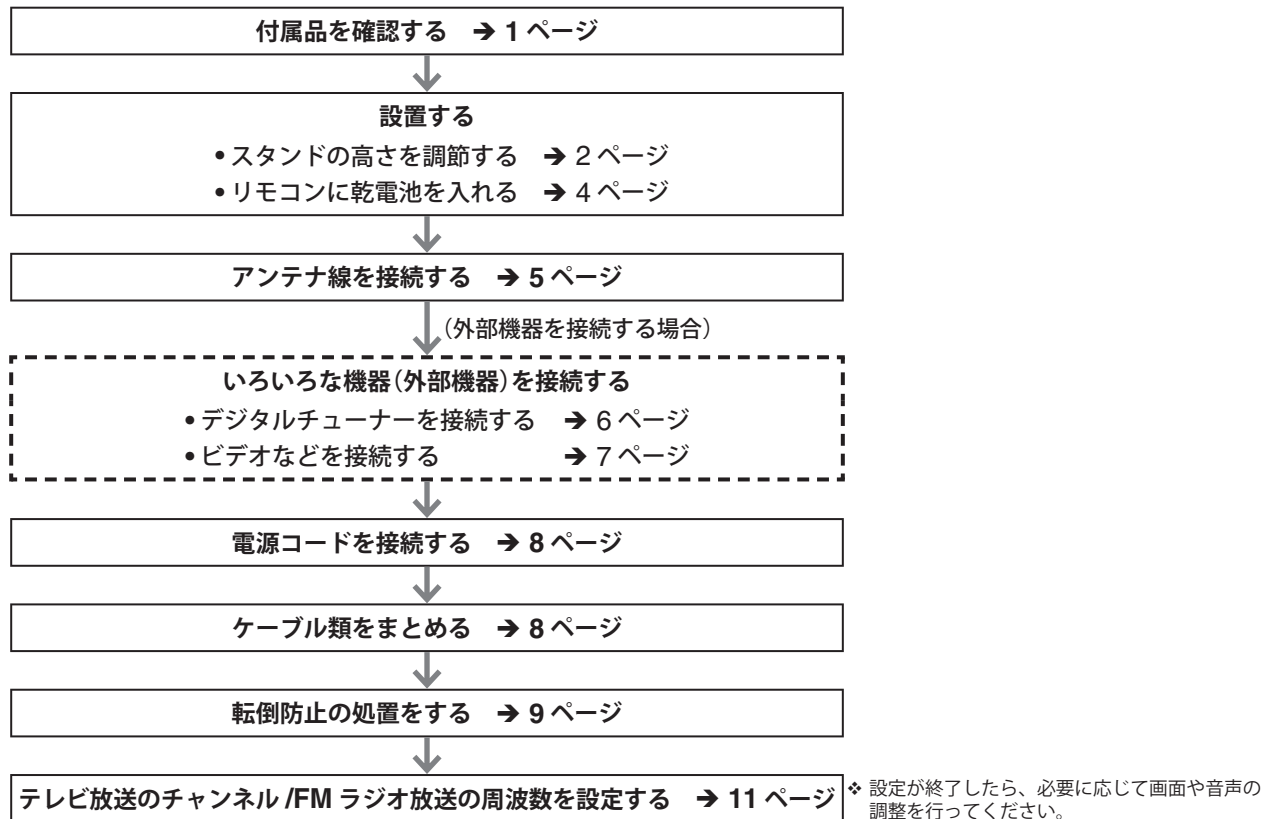
取扱説明書

重要

お買い上げありがとうございます。
使用する前に取扱説明書をよく読み
正しくお使いください。
取扱説明書は大切に保管してください。

SC19XA1
カラー液晶テレビ

準備の流れ

以下の流れで準備（設置・接続・設定）を行います。

以上で準備完了です。

本機でできること

画面表示や出力音声の設定ができます。

- 画面の表示サイズを選ぶ ➔ 19 ページ
- 音を消す ➔ 20 ページ
- 音声を切り換える ➔ 20 ページ
- 画面の明るさを自動調整する ➔ 29 ページ
- 画像のコントラストを自動調整する ➔ 26 ページ

設定した時刻に本機の電源を入れたり、入力を切り換えたりすることができます。

- 「オンタイマー」機能 ➔ 21 ページ

省電力機能を利用することができます。

- 「オフタイマー」機能 ➔ 22 ページ
- 「無放送電源オフ」機能 ➔ 29 ページ
- 「無信号電源オフ」機能 ➔ 29 ページ
- 「無操作電源オフ」機能 ➔ 29 ページ

本機の画質や音質などを詳細に設定・調整することができます。

本機を詳細に設定・調整するためのさまざまなメニューを用意しています。詳しくは、各参照先をご覧ください。

- 映像 ➔ 26 ページ
- 音声 ➔ 28 ページ
- 本体設定 ➔ 29 ページ

本機の特徴

FORIS.TV SC19XA1 には、次のような特徴があります。

高画質・高音質を「EIZO V.S. Technology」により実現
（「EIZO V.S. Technology」とは、EIZOが取り組む画質と音質づくりのマインドであり、EIZOならではの高精度システムの総称です）

高性能液晶パネルの採用
WXGA（1280×768）対応、輝度（450cd/m^2）、視野角（上下・左右170°）の液晶パネルを採用し、広い視野と高いコントラストを実現しています。

FM チューナーを搭載
本機では、テレビ放送（VHF1〜12、UHF13〜62、CATV C13〜C63）に加え、FMラジオ放送（FM76.1〜89.9MHz）を受信することもできます。

画像のコントラストを自動で調整可能
入力された信号に応じて、コントラストを自動的に調整するコントラスト拡張機能を搭載しています。暗いシーンでのコントラスト不足を解消、黒浮きを抑えた明暗のはっきりした映像が得られます。

画面の明るさを自動で調整可能
周囲の明るさに合わせて、画面を最も見やすい明るさに自動的に調整する明るさ自動調整機能を搭載しています。照明を気にすることなく、映像が楽しめます。

細かい色温度設定で好みの色設定が可能
きめ細かい調整により、映画など映像ソースに合わせて色設定ができます。

BBE High Definition Sound（ハイデフィニションサウンド）を採用
BBE High Definition Soundは、人の声や楽音を原音に極めて近いリアルな音で再現します。

SRS TruSurround に対応し 2 種類のサラウンドモードを搭載
音楽などのステレオ音声を聞くときや映画などのマルチチャンネル音声を聞くときなど、出力する音声に応じてサラウンドモードを設定できます。

重低音の再生を可能にする SRS TruBass 回路を装備
TruBass技術により、スピーカーの最低再生可能周波数以下の低音を再生することができます。

オンタイマー機能を搭載
設定した時刻になると、自動的に電源が入るオンタイマー機能を搭載しています。時刻は3つまで設定することができます。

高さ調節・回転機能を備えた専用スタンドを装備
スタンドは4段階に高さを変えることができ、また左右に画面を回せるスウィーベル機能を搭載しています。ダイニングでの椅子に座った位置、リビングでの低いソファに座った視線、フロアに座った目線で向かえるなど、各々のスタイルで楽しむことができます。

目次

準備の流れ i
本機の特徴 ii
安全のために iv
　使用上の注意 iv
　液晶パネルについて viii
　正しく快適にお使いいただくために viii
各部の名前と役割 ix

第 1 章　準備

付属品を確認する 1
設置する 2
　スタンドの高さを調節する 2
　リモコンに乾電池を入れる 4
接続する 5
　アンテナ線を接続する 5
　いろいろな機器（外部機器）を接続する 6
　電源コードを接続する 8
　ケーブル類をまとめる 8
転倒防止の処置をする 9
電源を入れる / 切る 10
　電源を入れる 10
　電源を切る 10
テレビ放送のチャンネル /FM ラジオ放送の周波数を設定する 11
　テレビ放送のチャンネルを自動で設定する 11
　FM ラジオ放送の周波数を設定する 12

第 2 章　操作方法

テレビを見る 13
　入力を切り換える〈入力切換〉....................13
　チャンネルを選ぶ 13
FM ラジオを聞く 15
　入力を切り換える〈入力切換〉....................15
　周波数を選ぶ 16
外部機器の映像を見る 17
　入力を切り換える〈入力切換〉....................17

第 3 章　便利な機能

放送やビデオ入力などの情報を見る〈画面表示〉....................18
画面の表示サイズを選ぶ〈画面サイズ〉....................19
音声を切り換える〈音声切換〉....................20
音声を消す〈消音〉....................20
電源を自動的に入れる〈オンタイマー〉....................21
電源を自動的に切る〈オフタイマー〉....................22

第 4 章　調整と設定

設定メニューのメニュー一覧 24
　設定メニューの呼び出しかた 24
　設定メニュー一覧 24
設定メニューの基本操作 25
映像 26
音声 28
本体設定 29
　チャンネル設定 30
　現在時刻設定 32

第 5 章　トラブル時の対処

トラブル時の対処 33

付録

クリーニングについて 36
仕様一覧 37
用語集 39
索引 40
保証書とアフターサービスについて 43

解説目次

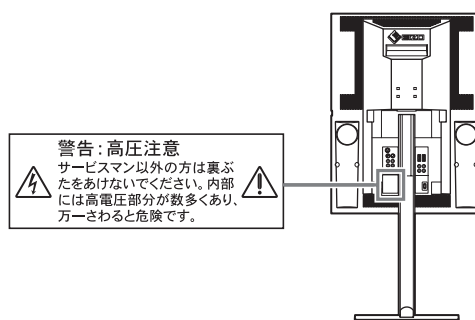
リモコンの受信範囲 4
音量の調節 10

安全のために

使用上の注意

重要

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

絵表示について

本書では次のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば⚡は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば🚫は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示したりするものです。たとえば●は「電源プラグを抜くこと」を示しています。

⚠警告

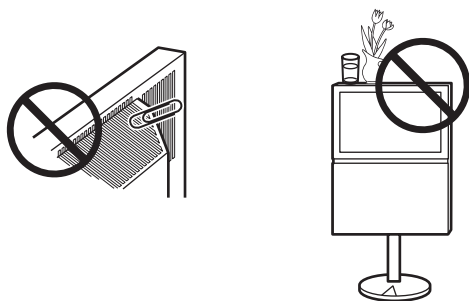
万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに製品の電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

異物を入れない、液体の入ったもの（花瓶など）や濡れたものを置かない

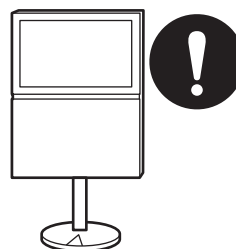
本製品内部に金属、燃えやすいものや液体が入ると火災や感電、故障の原因となります。
万一、本製品内部に異物を落としたり、液体をこぼしたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、転倒することがあり、けがの原因となります。
万一、倒れた場合は、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外
- 車両･船舶などへの搭載
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所（浴室、水場など）
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く

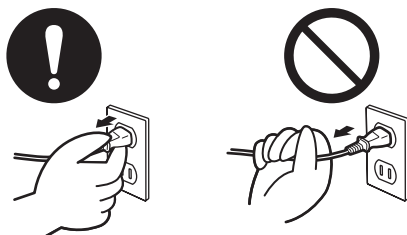
転倒防止の処置をする

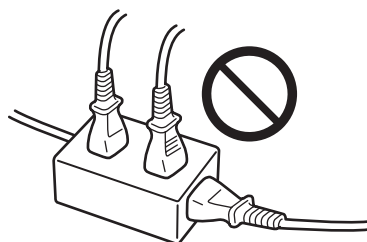
地震など非常時の安全確保と事故（火災、感電、けが）を防止するためです。
（処置方法については、9ページをご覧ください）

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

次のような誤った電源接続をしない

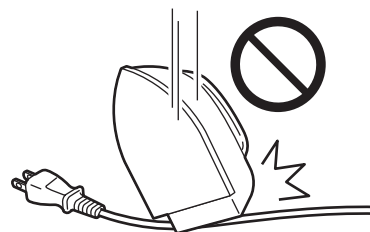
誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。
－ 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
－ タコ足配線

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

本製品に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれているため、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。

アンテナ工事は販売店またはエイゾーサポートに相談する

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグやコード、アンテナ線には触れない

感電の原因となります。

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

リモコン用乾電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。

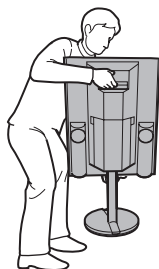
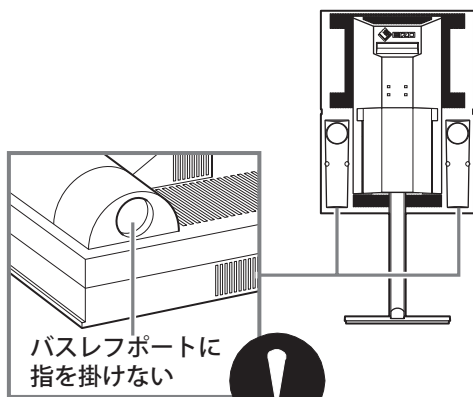
－ 分解や加熱をしたり、濡らしたりしない
－ 乾電池の取りつけ、交換は正しく行う
－ 交換は、2本とも新しい同じ種類（単3形のマンガン電池あるいはアルカリ電池）を使う
－ プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる
－ 被覆にキズの入った乾電池は使用しない
－ 廃棄時は地域指定の「乾電池回収箱」などへ入れる

⚠注意

運搬のときは、接続コードを外す

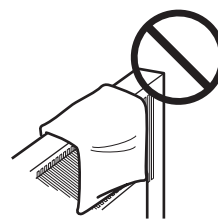
コードを引っ掛け、けがの原因となります。

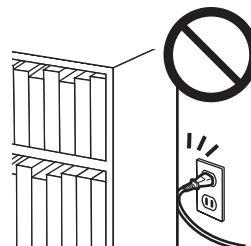
本製品を移動させるときは、持ちかたに注意する

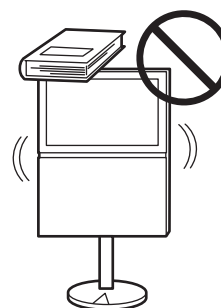
－ 背面の取っ手と本体下部中央を下図のようにして持つ
　落としたりすると、けがや故障の原因となります。

－ 本体下部のバスレフポートに指を掛けない
　破損やけがの原因となります。

スタンドの高さを調節するときは２人以上で行う

腰などを痛めたり、製品の落下によりけがの原因となります。
また、スタンドを取り付けるネジは最後までしっかりと回し、確実に固定してください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。
－ 通風孔をカーテンなどでふさがない
－ 通風孔の上や周囲にものを置かない
－ 風通しの悪い、狭いところに置かない
－ 周囲の壁から 10cm 以上の間隔をあけて設置する

電源プラグの周囲にものを置かない / 製品は電源コンセントの近くに設置する

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

テレビの上に乗らない、重いものを置かない

転倒することがあり､けがの原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。

画面を左右に回転する際には、接続コードが引っ張られないようにする

コードが強く引っ張られると、コードや接続機器が破損し、火災や感電、故障の原因となります。

ヘッドフォンを使用するときは音量を上げすぎない

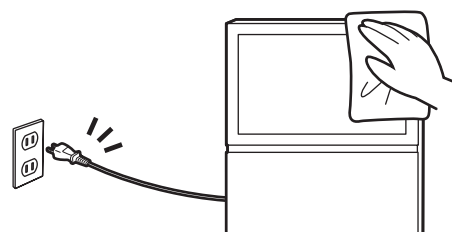
聴力に悪い影響を与える原因となります。

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源プラグも抜く

クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままで行うと感電の原因となります。

液晶パネルについて

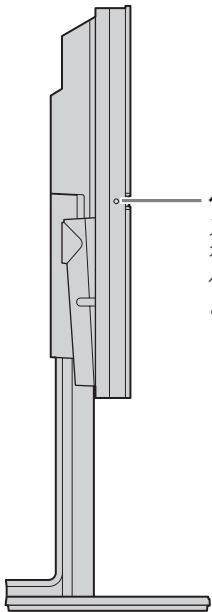
- 画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。
- 液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。寿命の目安は約 50,000 時間（標準設定状態の場合）です。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。
- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。
- 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。
- 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると、故障の原因となることがあります。

正しく快適にお使いいただくために

- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することをおすすめします。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。
- 画面を見るときは、画面の高さの 5 ～ 7 倍程度離れてご覧ください。
- 本機の近くで電磁波を発生するような機器（携帯電話など）を使用しないでください。機器相互間での干渉により、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

各部の名前と役割

本体

■ 本体左側面

■ 本体前面

■ 本体背面

カバーを外した状態
リモコンホルダー
取り付けかた(4 ページ)
VHF/UHF
アンテナ入力端子
ビデオ入力 3
D 端子
音声入力端子
ビデオ入力 4
D 端子
音声入力端子
電源入力端子
(AC100V)
ビデオ入力 1
S 映像入力端子
映像入力端子
音声入力端子
ビデオ入力 2
S 映像入力端子
映像入力端子
音声入力端子

リモコン

① スピーカーとヘッドフォンの音声を消します。（20 ページ）

② 自動的に、テレビの電源を入れるときに使います。（21 ページ）

③ 自動的に、テレビの電源を切るときに使います。（22 ページ）

④ 電源を入 / 切します。（10 ページ）

⑤ テレビ放送のチャンネルや設定した FM ラジオ放送の周波数を順送りで切り換えます。（15、16 ページ）

⑥ スピーカーとヘッドフォンの音量を調節します。（10 ページ）

⑦ 入力や音声、時計表示などの情報を表示します。（18 ページ）

⑧ ステレオ / モノラル、または主音声 / 副音声を切り換えます。（20 ページ）

⑨ メニュー操作のときに画面を一つ前の画面に戻します。画面が最上位のときに押すと、メニューが終了します。

⑩ テレビ放送のチャンネルや FM ラジオ放送の周波数を選ぶときに使います。（13、16 ページ）

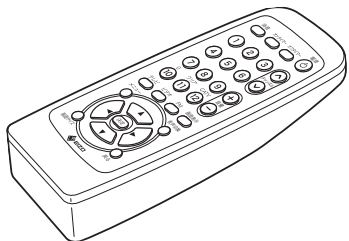
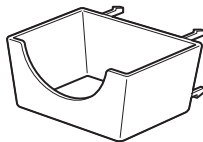
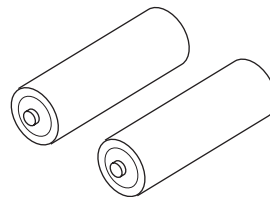
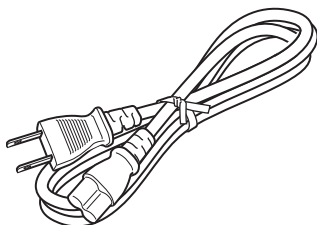
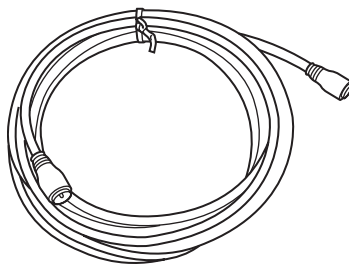
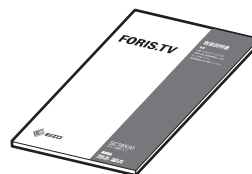
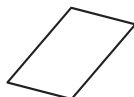
⑪ テレビ放送に切り換えます。（13 ページ）

⑫ ビデオ入力に切り換えます。（17 ページ）
ボタンを押すたびに、ビデオ 1 →ビデオ 2 →ビデオ 3 →ビデオ 4 の順序で入力が変わります。

⑬ FM ラジオ放送に切り換えます。（15 ページ）

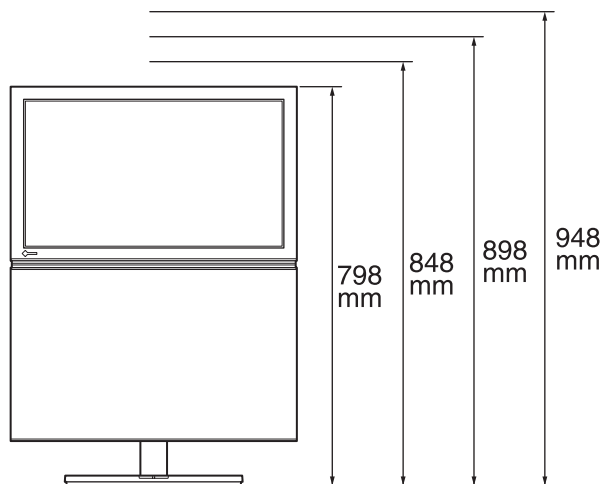
⑭ 設定メニューを表示 / 終了します。（24 ページ）

⑮ メニュー項目の選択や設定値を変更するときに使います。

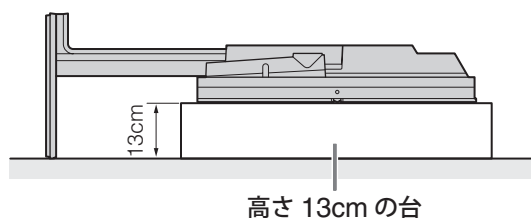
⑯ 画面の表示サイズを切り換えます。（19 ページ）

設置する

スタンドの高さを調節する

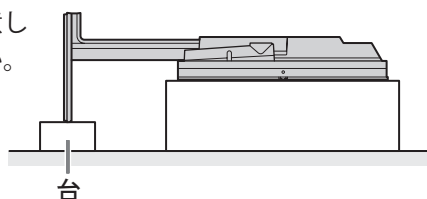
スタンドは、以下の 4 段階の高さに調節することができます。

❖ お買い上げ時は、一番下の高さ（798mm）にセットされています。

■ 作業を始める前に

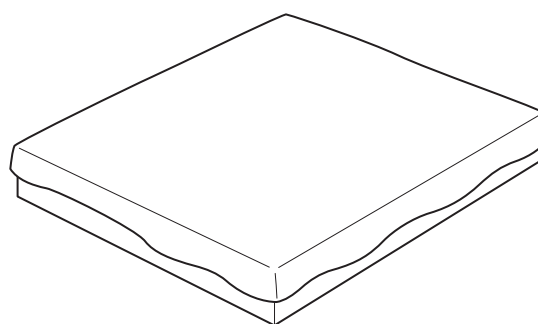
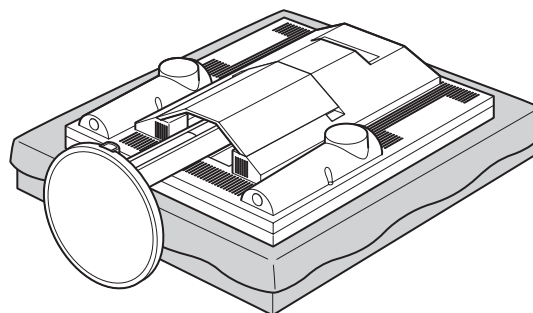
以下のものを用意してください。

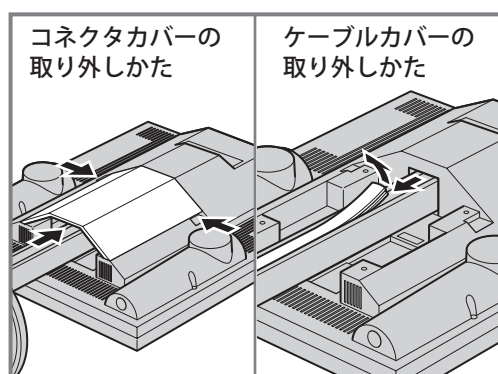
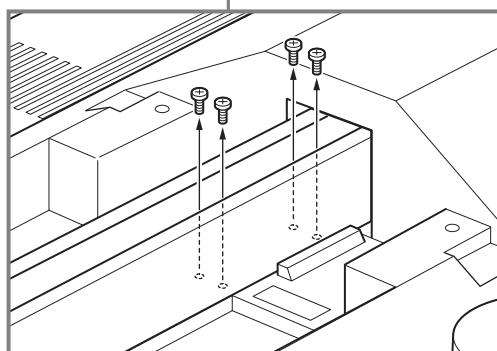
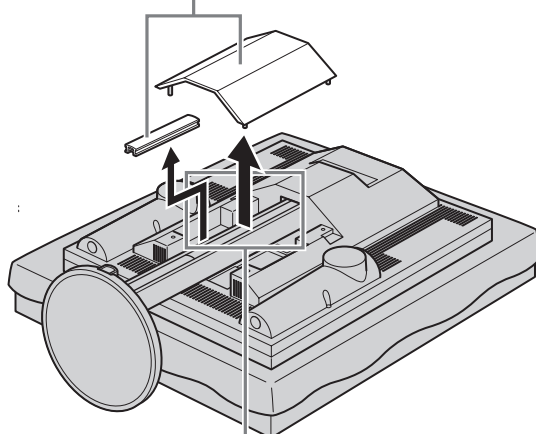
- 本体を支える台（高さ 13cm）

- 柔らかい布など
  本機を台の上に置いたときに、液晶パネル面に傷が付かないようにするために使用します。

- プラスドライバー
  ネジの取り付け、取り外しの際に使用します。

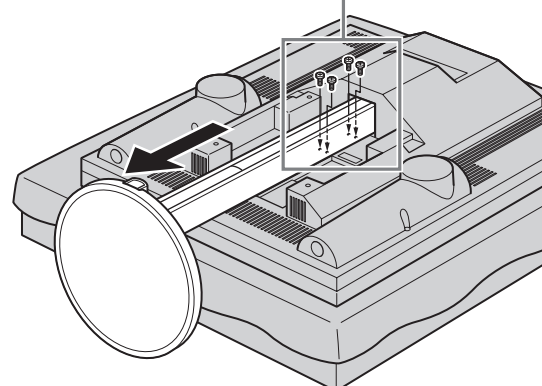
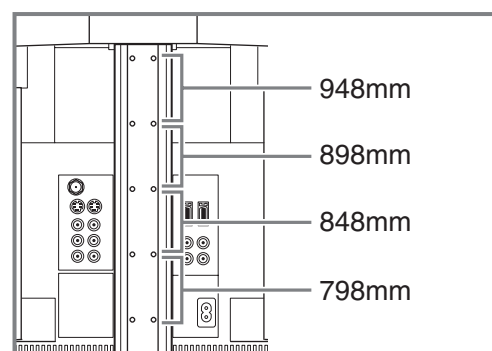
本体を台に載せたときに、スタンドと床などとの間にすき間ができる場合は、別途スタンドを支える台を用意してください。

⚠注意

スタンドの高さ調節は 2 人以上で行う
腰などを痛めたり、製品の落下などによりけがの原因となります。

1 本体を置く台の上に、柔らかい布などを敷く

2 台の上に本機を置く

3 コネクタカバー、ケーブルカバーを取り外し、スタンドを固定しているネジを取り外す（4 箇所）

注意
- スタンド部分は重くなっているため、注意して取り外してください。

❖ 図の矢印の部分に指をかけて取り外します。

4 スタンドの高さを合わせ、手順 3 で取り外したネジで固定する（4 箇所）

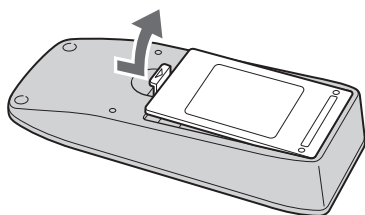
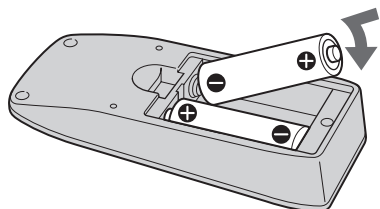
注意
- ネジは最後までしっかりと回し、確実に固定してください。

❖ スタンドには取付穴が 10 箇所あいています。設置する高さに応じて、ネジを取り付けてください。必ず 4 箇所で固定してください。

5 本機を起こす

❖ コネクタカバー、ケーブルカバーは、外部機器や電源コードの接続がすべて終わってから取り付けます。（8 ページ）

設置する（つづく）

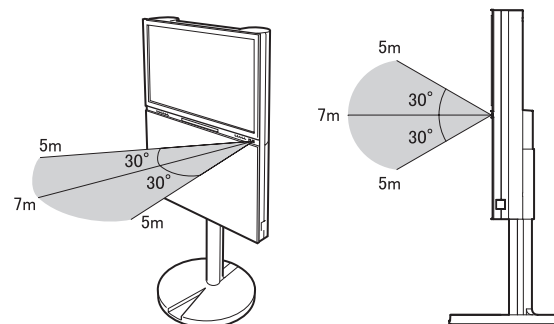
リモコンに乾電池を入れる

1 **リモコンの底面を上にし、ツマミを矢印の方向に押してロックを外し、カバーを取り外す**

2 **単 3 形乾電池を入れ、カバーを元に戻す**

❖ 乾電池を入れる向きに注意してください。

解説：リモコンの受信範囲

リモコンは図の範囲内から操作してください。

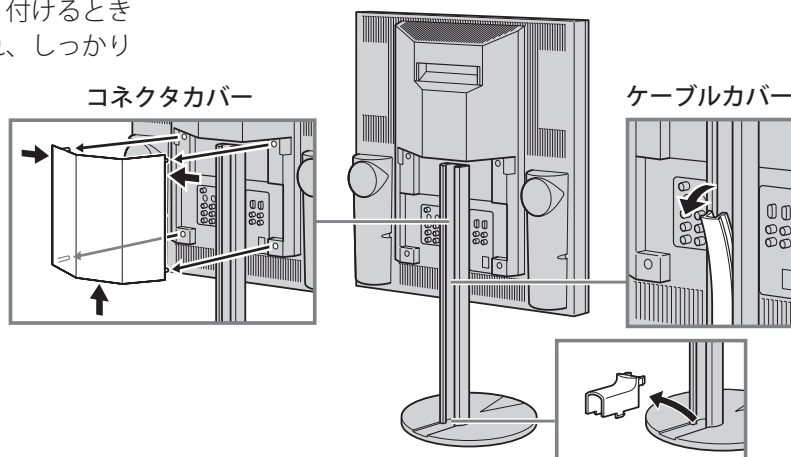
リモコンホルダーを取り付ける

図の位置にリモコンホルダーを取り付けます。

接続する

■ 接続する前に

本体背面のコネクタカバー、ケーブルカバーを取り外してください。

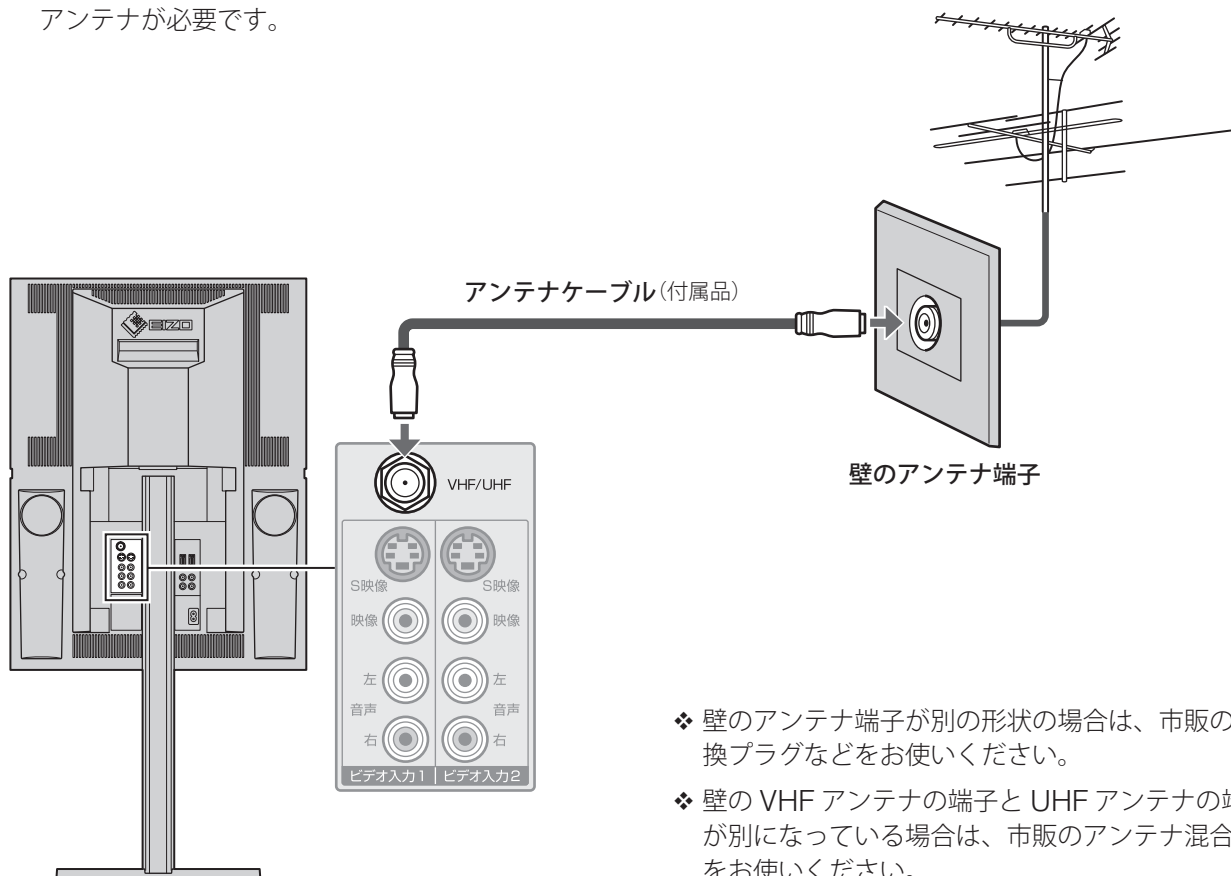
❖ コネクタカバーは、図の矢印の部分を持って取り外してください。また、取り付けるときはカバーの突起を本体の穴に入れ、しっかりと押し込んでください。

コネクタカバー　ケーブルカバー

注意

- **機器の接続は、必ず電源コードをはずした状態でおこなってください。**

アンテナ線を接続する

アンテナの設置は販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

❖ FM 放送を受信するには、FM 専用アンテナまたは FM・1 ～ 3ch 用アンテナが必要です。

❖ 壁のアンテナ端子が別の形状の場合は、市販の変換プラグなどをお使いください。

❖ 壁の VHF アンテナの端子と UHF アンテナの端子が別になっている場合は、市販のアンテナ混合器をお使いください。

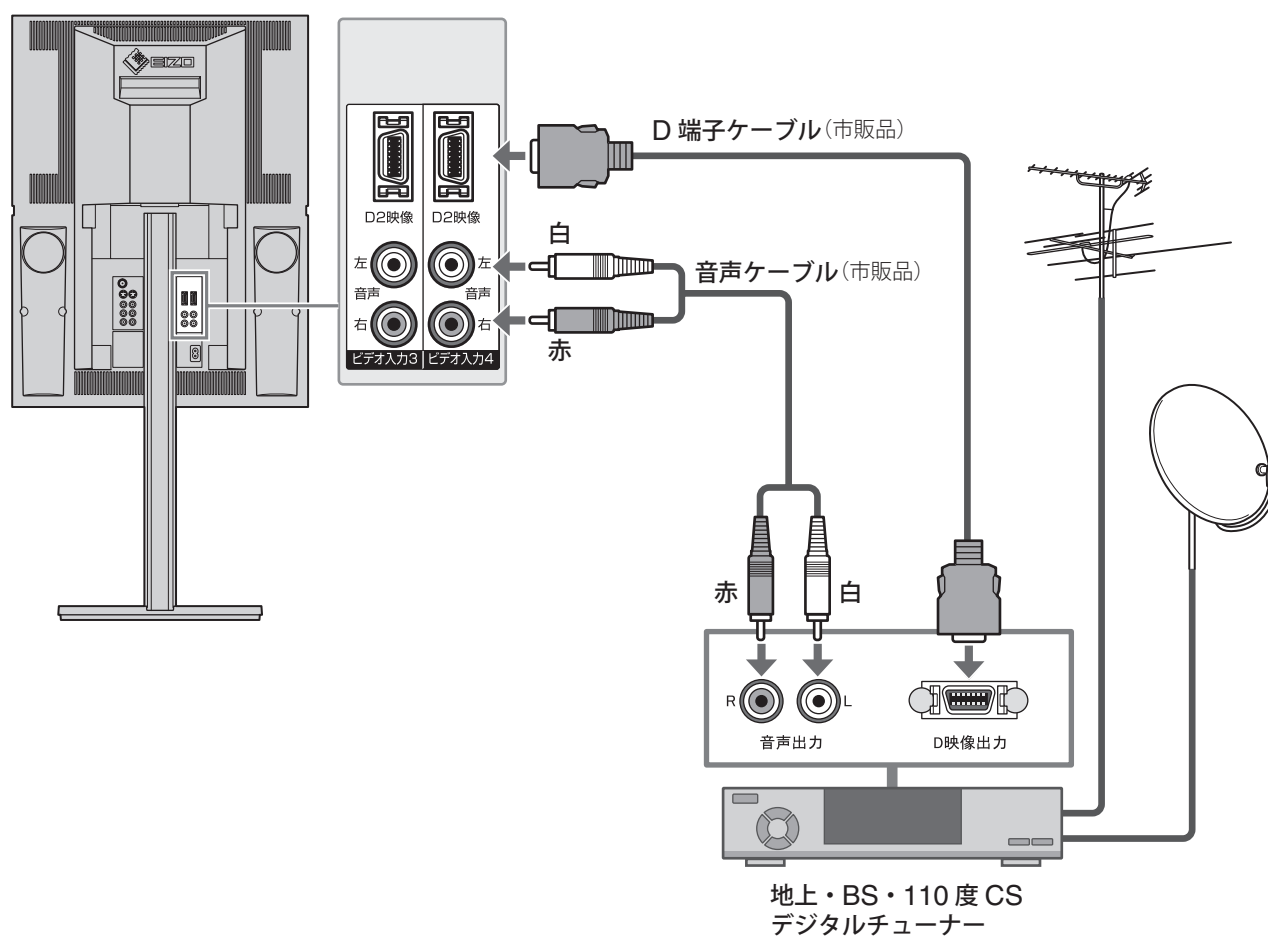
接続する（つづき）

いろいろな機器（外部機器）を接続する

❖ 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

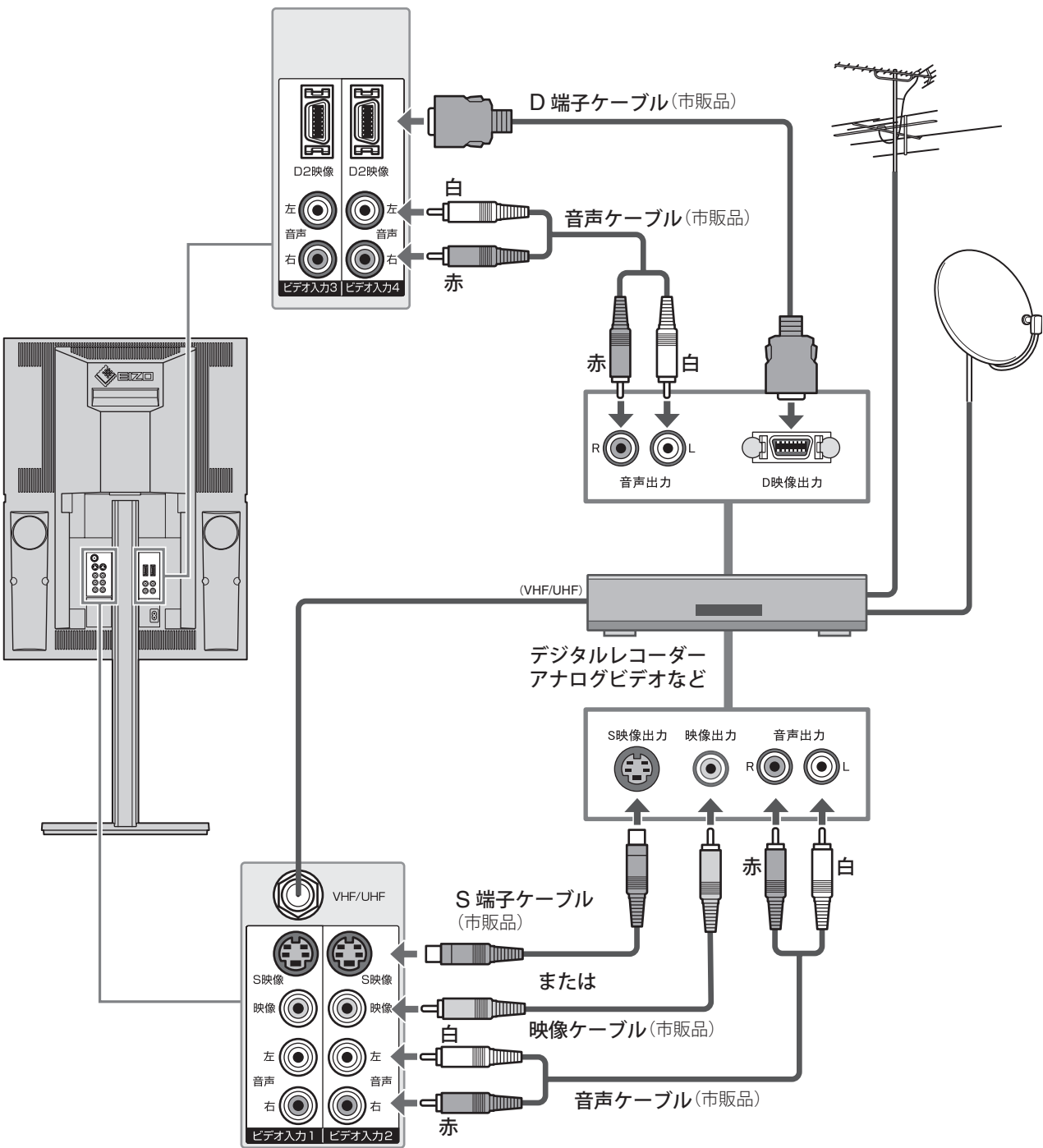
デジタルチューナーを接続する

❖ デジタルチューナーを接続する場合は、D 端子ケーブルを使って接続してください。

❖ デジタルチューナーが D 端子を搭載していない場合は、S 映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って、デジタルチューナーの映像出力とビデオ入力 1 またはビデオ入力 2 を接続してください。（接続のしかたは、次ページをご覧ください）

ビデオなどを接続する

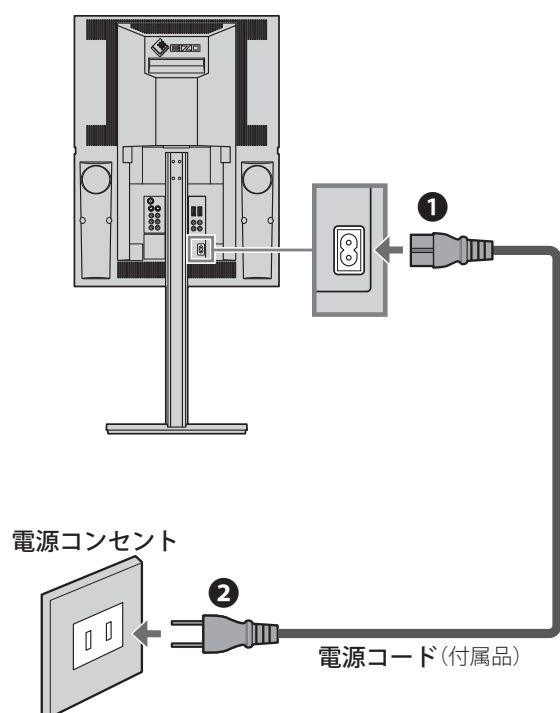
接続する機器に搭載されている出力端子に応じて接続してください。

❖ D 端子と S 映像 / 映像出力端子の両方を搭載している場合は、D 端子に接続するとより高画質の映像を楽しめます。

❖ S 映像入力端子と映像入力端子に両方に接続した場合は、S 映像入力端子からの映像が表示されます。

接続する（つづき）

電源コードを接続する

注意
- 電源コードは、必ずすべての機器の接続が終わったあとで接続してください。

電源コードは、❶❷の順に接続してください。
電源コードを接続すると、電源ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

⚠ 警告

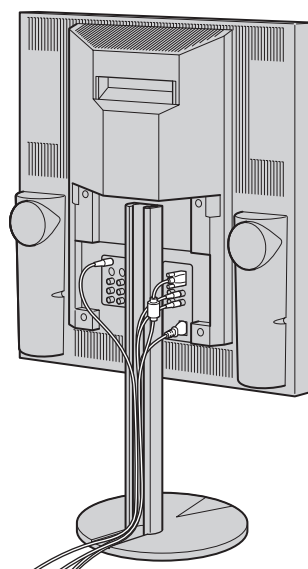
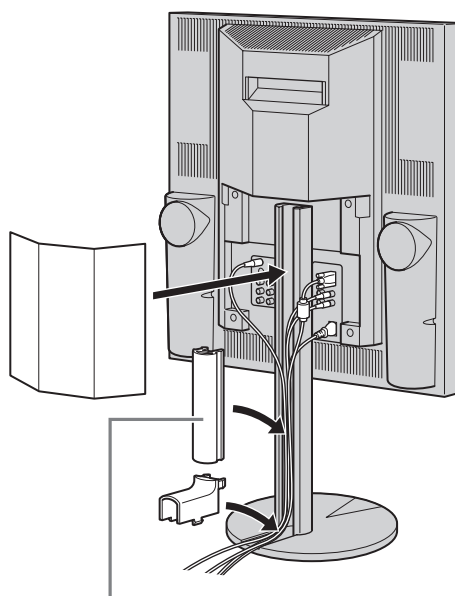
付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

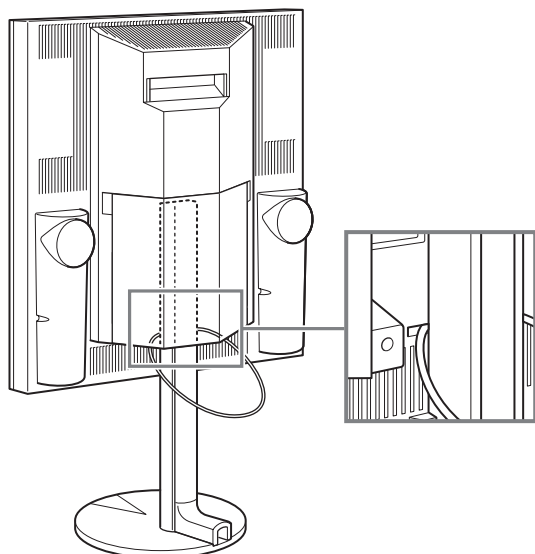
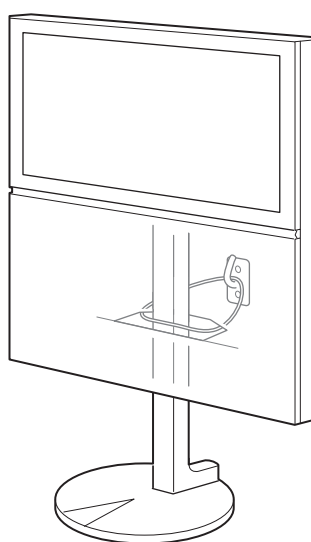
❖ 次回電源コードを接続したときは、前回電源コードを抜いたときの電源の状態（スタンバイ / 入）となります。

ケーブル類をまとめる

接続が終わったら、スタンドの中にケーブル類をまとめ、カバーを取り付けます。

1 ケーブルをスタンドの中に入れる

2 コネクタカバー、ケーブルカバーを取り付ける

カバーは 2 本あります。
スタンドの高さに応じて取り付けてください。
- 798 / 848mm のとき：1 本
- 898 / 948mm のとき：2 本

転倒防止の処置をする

1 **本体背面の穴に、ワイヤー（直径 3 ～ 4mm）などを通す**

2 **壁面や柱にフックなどを取り付け、ワイヤーをしっかりと固定する**

❖ ワイヤーやフックは付属しておりません。別途ご用意ください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

電源 (または本体の電源ボタン)を押す

電源が入り、電源ランプが緑に点灯します。

初めて電源を入れたときは、テレビが表示されます。

2 回目からは、前回電源を切ったときの入力の画面が表示されます。

電源を切る

電源 (または本体の電源ボタン)押す

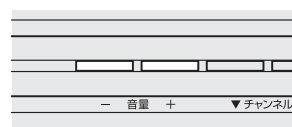
電源が切れ、電源ランプが赤く点灯します。

❖ スタンバイ状態では少量ですが電気を消費します。完全に電源を切りたいときには、電源コードを抜いてください。
ただし、電源コードを抜くと、「現在時刻」(32 ページ)がリセットされ、「オンタイマー」機能(21 ページ)も働きません。

⚠注意

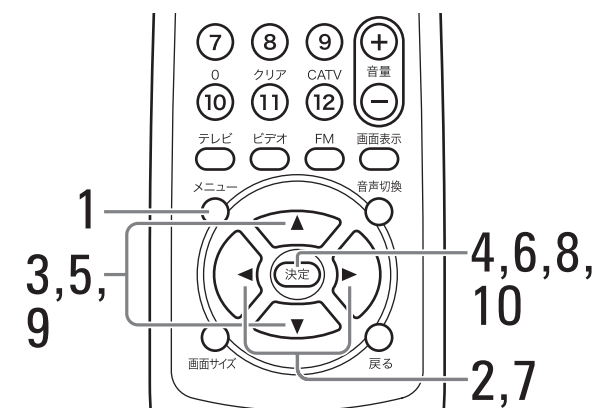
長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源プラグも抜く

解説：音量の調節

音量の調節は、リモコンの⊕音量⊖（または本体の**ー音量＋**）で行います。

⊕または**＋**を押すと、音量が上がります。

⊖または**ー**を押すと、音量が下がります。

テレビ放送のチャンネル /FM ラジオ放送の周波数を設定する

テレビ放送のチャンネルを自動で設定する

1 メニュー ◯ **を押す**

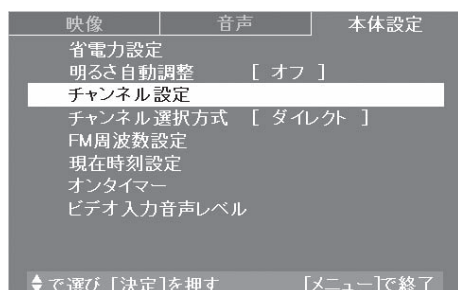
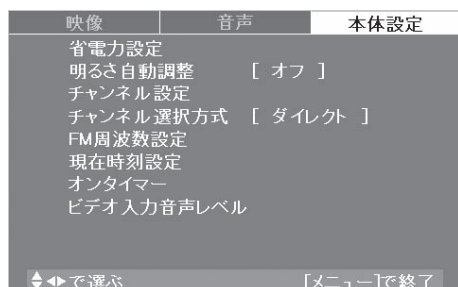
設定メニューが表示されます。

2 **◀▶ を押して［本体設定］を選ぶ**

黄色表示が選択されている部分です。

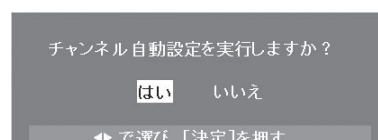
3 **▲▼ を押して［チャンネル設定］を選ぶ**

4 **(決定)を押す**

［チャンネル設定］画面が表示されます。

5 **▲▼ を押して［自動設定］を選ぶ**

6 **(決定)を押す**

確認メッセージが表示されます。

7 **◀▶ を押して［はい］を選ぶ**

8 **(決定)を押す**

自動設定が開始されます。

❖ テレビ以外の入力を選んでいるときは、(決定)を押すと入力がテレビに変わります。

設定が終了すると、手順 5 の画面に戻ります。

9 **▲▼ を押して［戻る］を選ぶ**

10 **(決定)を押す**

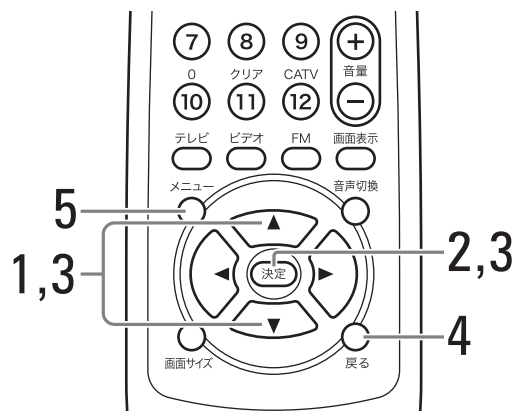
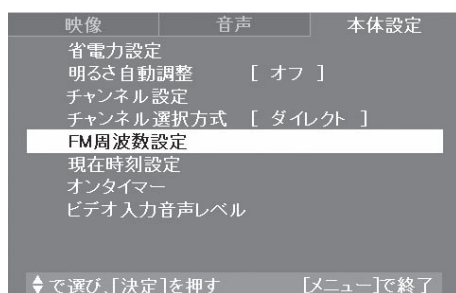
本体設定メニューに戻ります。

「FM ラジオ放送の周波数を設定する」（次ページ）に進みます。

❖ ［自動設定］では、1 から 12 チャンネルの放送がある場合は、該当する数字ボタンにそのチャンネルを割り当てます。
13 以降のチャンネルの放送がある場合は、3 から 12 までのうち空いているボタンに順に割り当てます。空いているボタンがない場合は、13 以降の番号が割り当てられます。13 以降に割り当てられたチャンネルは、リモコンの チャンネル ⌃ ⌄ で選べます。
（チャンネルは最大 18 局まで設定できます）

❖ 自動設定されたチャンネルを修正したいときは、「チャンネル設定」の［手動設定］（30 ページ）で、修正してください。

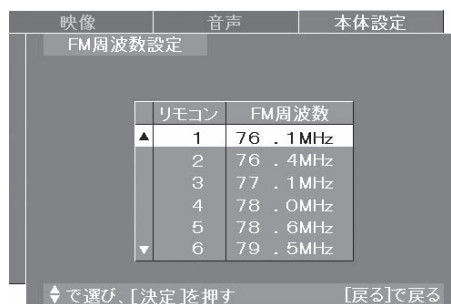
テレビ放送のチャンネル/FM ラジオ放送の周波数を設定する(つづき)

FM ラジオ放送の周波数を設定する

1 ▲▼ を押して[FM 周波数設定]を選ぶ

2 (決定)を押す

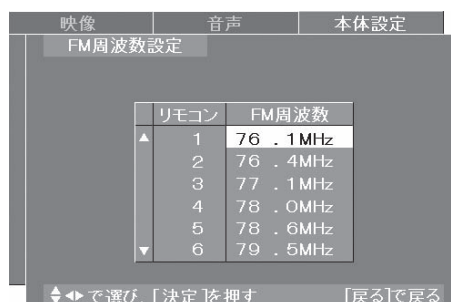
❖ FM ラジオ以外の入力を選んでいるときは、(決定)を押すと入力が FM ラジオに変わります。

[FM 周波数設定] 画面が表示されます。

3 リモコンの数字ボタンに割り当てる周波数を設定する

❶ ▲▼ を押して設定する[リモコン]の数字ボタンを選び、(決定)を押す

[FM 周波数]の欄が黄色表示になります。

❷ ▲▼ を押して周波数を設定する

▲ を押すと周波数が 0.1MHz 上がり、▼ を押すと 0.1MHz 下がります。

❸ (決定)を押す

選択部分が❶の状態に戻ります。

❖ 別の数字ボタンの設定をするときは、手順❶～❸を繰り返します。

4 (戻る)を押す

本体設定メニューに戻ります。

5 (メニュー)を押す

通常画面に戻ります。

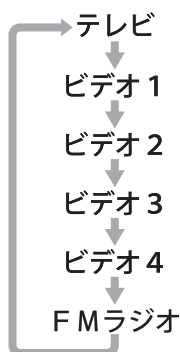
以上で、準備完了です。

テレビを見る

入力を切り換える
〈入力切換〉

テレビ（または本体の入力切換ボタン）を押す

テレビの映像に変わります。

❖ 本体の入力切換ボタンを押したときは、次の順序で入力が変わります。

チャンネルを選ぶ

ワンタッチで選ぶ

❖ 設定メニューの本体設定メニューで［チャンネル選択方式］（29 ページ）を［ダイレクト］に設定している場合の選びかたです。

①から⑫のいずれかを押す

①から⑫のボタンに割り当てられているチャンネルに変わります。

チャンネルの割り当ては、変更することができます。詳しくは、「チャンネル設定」（30 ページ）をご覧ください。

❖ 選んだチャンネルに放送がない（信号がない）ときは、自動的に消音され、画面も暗くなります。

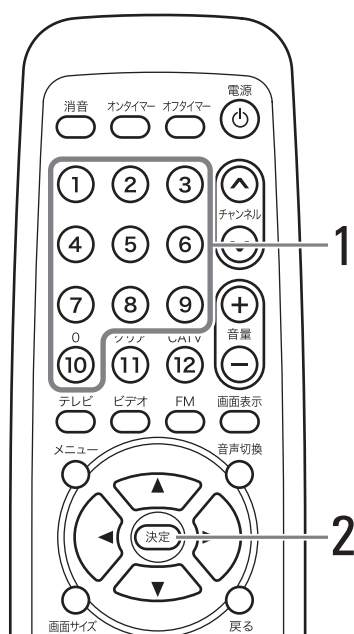
準備
操作方法
便利な機能
調整と設定
トラブル時の対処
付録

テレビを見る（つづき）

チャンネルの番号を直接指定して選ぶ

❖ 設定メニューの本体設定メニューで、［チャンネル選択方式］を［10 キー］に設定している場合の選びかたです。

■ テレビチャンネルを選ぶとき

（例：4 チャンネル）

1 ④を押す

画面に番号が表示されます。

2 （決定）を押す

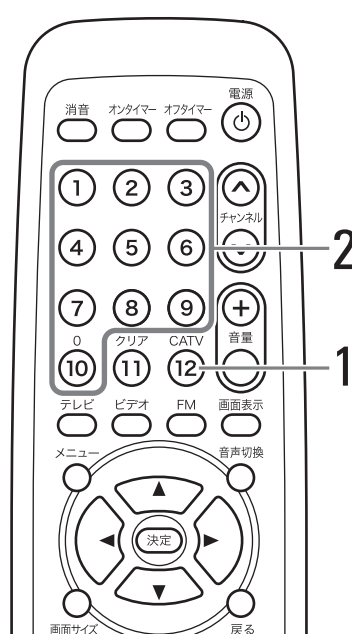
4 チャンネルに変わります。

（決定）を押さなくても、3 秒間何も操作しないとチャンネルが変わります。

❖ 10 から 62 チャンネルを選ぶときは、手順 2 の操作はいりません。例えば 14 チャンネルを選ぶ場合は、①④と続けて押すと 14 チャンネルに変わります。

❖ 0 を入力するには、⑩（0）を押します。

■ ケーブルテレビのチャンネルを選ぶとき

（例：C40 チャンネル）

1 ⑫（CATV）を押す

2 続けて④⑩（0）を押す

画面に C40 と表示され、C40 チャンネルに変わります。

本機では、C13 から C63 までのチャンネルが選べます。

注意

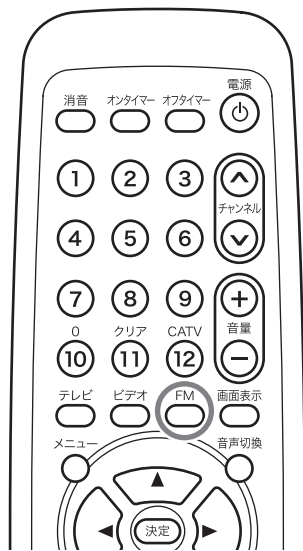
- **ケーブルテレビをご覧になるには、ケーブルテレビ会社との契約とケーブル工事などが必要です。**

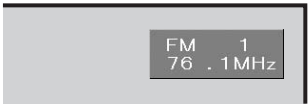
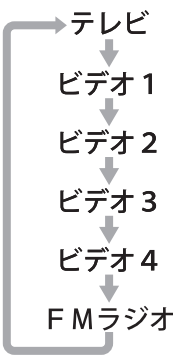
FM ラジオを聞く

チャンネルを順送りで選ぶ

チャンネル（または本体の ▼ チャンネル ▲）を押す

放送のない番号はスキップする（飛ばす）ように設定できます。（30 ページ）

入力を切り換える
〈入力切換〉

FM（または本体の入力切換ボタン）を押す

FM ラジオに変わります。

❖ 本体の入力切換ボタンを押したときは、次の順序で入力が変わります。

❖ FM ラジオを受信しているときは、自動的に画面が消えます。

FM ラジオを聞く（つづき）

周波数を選ぶ

ワンタッチで選ぶ

①から⑫のいずれかを押す

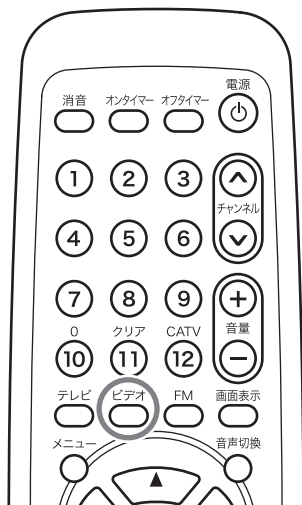
①から⑫のボタンに割り当てられている周波数に変わります。

周波数の割り当ては、変更することができます。詳しくは、「FM ラジオ放送の周波数を設定する」（12 ページ）をご覧ください。

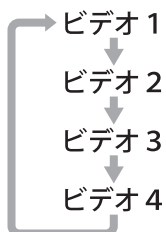
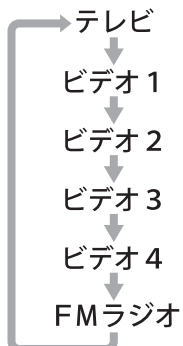
順送りで選ぶ

チャンネル ∧∨（または本体の ▼ チャンネル ▲）を押す

外部機器の映像を見る

入力を切り換える
〈入力切換〉

ビデオ（または本体の入力切換ボタン）を押す

接続した外部機器の映像に変わります。

❖ リモコンのビデオを続けて押すと、次の順序でビデオ入力が変わります。

❖ 本体の入力切換ボタンを押したときは、次の順序で入力が変わります。

❖ 選んだ入力に信号がないときは、自動的に画面が暗くなります。

放送やビデオ入力などの情報を見る〈画面表示〉

1 画面表示 **を押す**

そのときの入力（テレビ / ビデオ /FM ラジオ）や現在の時刻などの情報が表示されます。

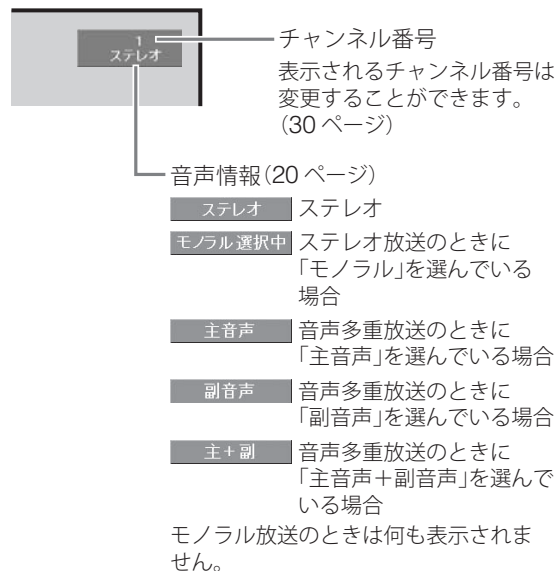
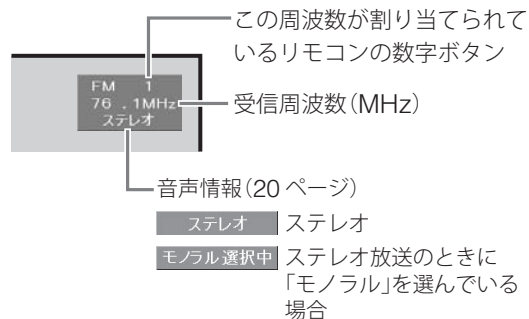
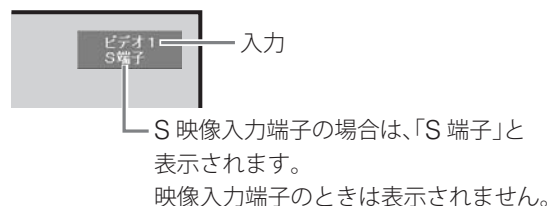
2 **もう一度** 画面表示 **を押す**

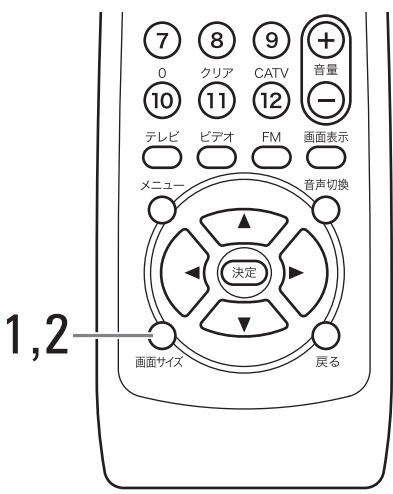
情報表示が消えます。

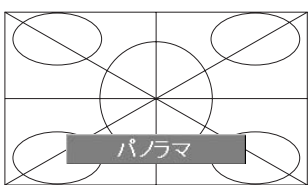
画面表示 を押さなくても、3 秒経過すると情報表示が消えます。

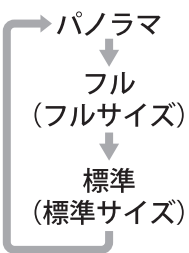
■ 画面表示

テレビのとき

モノラル放送のときは何も表示されません。

FM ラジオのとき

ビデオ 1､2 のとき

ビデオ 3､4 のとき

画面の表示サイズを選ぶ〈画面サイズ〉

1 画面サイズ **を押す**

現在の画面サイズが 3 秒間表示されます。

2 **画面サイズの表示中に** 画面サイズ **を押す**

押すたびに、次のように変わります。

❖ 入力された信号のフォーマットが 1125i（1080i）や 750p（720p）の場合には、画面サイズがフルサイズに固定され、切り換えることができません。

❖ FM ラジオを受信しているときは、画面サイズを切り換えることができません。

■ 画面サイズの自動切り換えについて

入力がビデオ 1 ～ビデオ 4 の場合、入力された信号のアスペクト情報を判別して、次のように画面サイズが自動的に切り換えられます。

－ 入力信号が 16:9 サイズの映像と判断された場合、「フルサイズ」に切り換えられます。

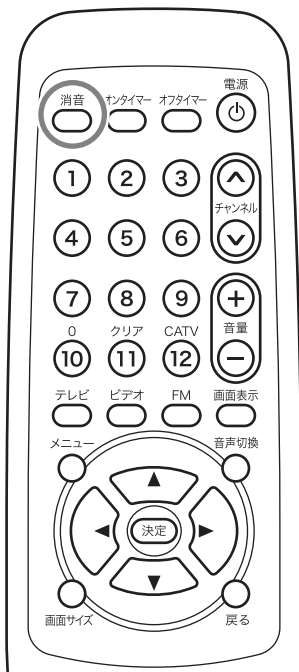
❖ 画面サイズは、自動で切り換えられた後、手動で切り換えることができます。

❖ 接続されている機器によっては、画面サイズの自動切り換えが正しく行われない場合があります。

■ 画面サイズの種類

画面サイズの種類と見えかたは次のとおりです。映像の種類に合わせて最適なサイズを選んでください。

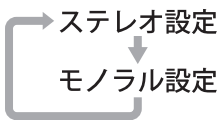
画面サイズ ＼ 映像の種類		4:3 サイズ	レターボックス（16:9 サイズの映像を縦横比を保ったまま 4:3 サイズに収めたもの）	16:9 サイズ
パノラマ	4：3 サイズの映像をできるだけ保ったまま画面いっぱいに表示します。左右に行くほど横に広げられます。 16:9 サイズの映像は、逆に中央部分が縦長になります。			
フルサイズ	画面いっぱいに表示します。16:9 サイズの映像が正しく表示されます。 4:3 サイズの映像は横に広げられます。			
標準サイズ	4:3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。16:9 サイズの映像は横に圧縮されます。			

音声を切り換える〈音声切換〉

- 音声の切り換えは、入力がテレビと FM ラジオのときのみ使えます。

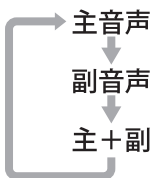
音声切換 ◯ **を押す**

押すたびに、次のように変わります。

ステレオ放送を受信中のとき

ステレオ設定
↓
モノラル設定

音声多重放送を受信中のとき

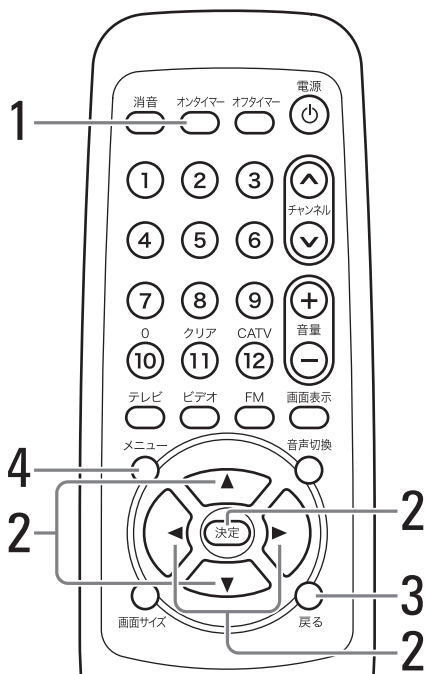
❖「主＋副」を選ぶと、左から主音声が、右から副音声が出力されます。

音声を消す〈消音〉

消音 **を押す**

音声が消えます。

もう一度 消音 を押すと、音声が出ます。

❖ ＋ 音量（または本体の**音量＋**）を押して音量を上げても音声が出ます。

電源を自動的に入れる〈オンタイマー〉

オンタイマーは、あらかじめ設定した時刻になると、設定した入力と音量で、自動的に本機の電源が入る機能です。

❖ オンタイマー機能を使うときは、現在時刻を設定しておく必要があります。(32 ページ)

❖ 電源を入れる時刻は 3 つまで設定することができます。複数の設定が同じ時刻に設定されているときは、上段の設定が優先されます。

❖ 視聴中にオンタイマー機能が働いたときは、自動的に設定されている入力に変わります。

1 (オンタイマー) を押す

(または本体設定メニューの[オンタイマー]を選び、(決定)を押す)

[オンタイマー] 設定画面が表示されます。

2 オンタイマーの設定を行う

❶ ▲▼ を押して設定する段を選び、(決定)を押す

[設定]の欄が黄色表示になります。

❷ ◀▶ を押して設定項目を選ぶ

❸ ▲▼ を押して設定値を変更する

設定項目	設定値	説明
設定	1 回 / 毎日 / 無効	[1 回] を選ぶと、設定した時刻に 1 回だけオンタイマー機能が働きます。 [毎日] を選ぶと、設定した時刻に毎日繰り返しオンタイマー機能が働きます。
オン時刻		本機の電源を入れる(電源が入っているときは入力を切り換える)時刻を設定します。
入力		入力を選びます。
リモコン ❖ [入力]に[テレビ]または[FM]を選んだとき		放送局(チャンネル)または周波数が割り当てられているリモコンの数字ボタンを選びます。 [入力] が [テレビ] のときは、[スキップ] 設定が [受信] になっている放送局のみ選択することができます。
音量	0 ～ 50	オンタイマー機能で本機の電源が入ったときの音量を設定します。 視聴中にオンタイマー機能が働いたときは、視聴時の音量のまま変わりません。

❹ すべての項目の設定が終わったら、(決定)を押す

選択部分が❶の状態に戻ります。

❖ 別の段の設定をするときは、手順❶～❹を繰り返します。

❖ 設定を [1 回] または [毎日] にすると、本体前面のオンタイマーランプが赤く点灯します。

次のページにつづく≫

電源を自動的に入れる（つづき）

3 戻る を押す

本体設定メニューに戻ります。

4 メニュー を押す

通常画面に戻ります。

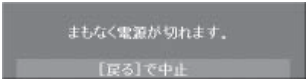
注意

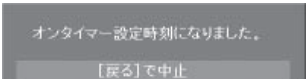
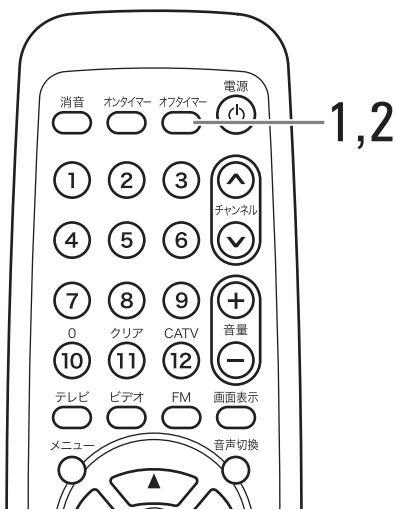
- **オフタイマーや電源オフ機能と、オンタイマーの設定が同時刻の場合は、オンタイマー機能は働きません。**

❖ 手順１で オンタイマー を押したときに、以下の画面が表示されたときは、「現在時刻設定」（32 ページ）をご覧になり、現在時刻を設定してください。

現在時刻を設定してください。
［決定］で設定　［戻る］で中止

❖ 本機の電源が切れている状態からオンタイマー機能で電源が入ったときは、１時間後に自動的に電源が切れます。電源が切れる１分前になると、次のように表示されます。（電源を切りたくないときは 戻る を押します）

まもなく電源が切れます。
［戻る］で中止

❖ 視聴中にオンタイマーの設定時刻になったときは、次のように表示され、設定されている入力に切り換えます。（入力を切り換えたくないときは 戻る を押します）
なお、音量は視聴中の大きさのまま変わりません。

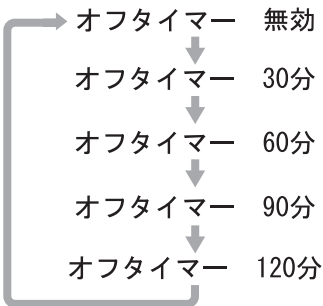
オンタイマー設定時刻になりました。
［戻る］で中止

電源を自動的に切る〈オフタイマー〉

オフタイマーは、一定の時間が経つと、自動的に本機の電源を切る機能です。

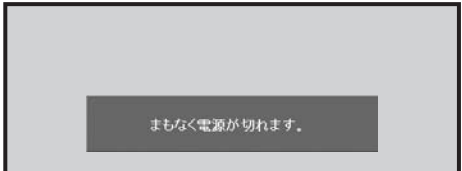
1 オフタイマー を押す

現在のオフタイマーの設定が３秒間表示されます。

オフタイマー　無効

2 表示中に オフタイマー を押す

押すたびに、30 分刻みでオフタイマーの時間が変わります。最長 120 分まで指定できます。

表示が消えるとオフタイマーが設定され、設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。

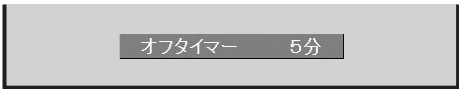
❖ 電源が切れる１分前になると、次のように表示されます。

オフタイマーを解除するには

［オフタイマー無効］が表示されるまで オフタイマー を押す

［オフタイマー無効］を選ぶと、オフタイマーは解除されます。

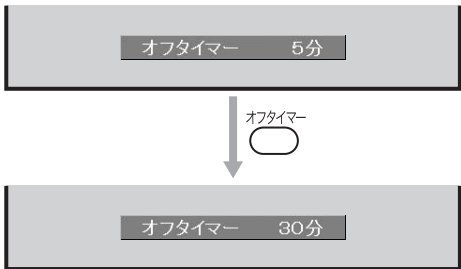
残り時間を確認するには

オフタイマーを設定したあとに オフタイマー を押す

電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

❖ 残り時間は、秒を切り捨てた分単位で表示されます。

オフタイマー時間を延長するには

残り時間の表示中に オフタイマー を押す

オフタイマー を押すたびに 30 分刻みで時間が延長されます。

■ このほかの電源オフ機能

本機ではオフタイマー機能以外に、次のような電源を自動的に切る機能が使えます。

無放送電源オフ

入力がテレビのときに、放送がない（信号がない）状態が 15 分続くと、自動的に電源を切ります。

無信号電源オフ

入力がビデオ 1 ～ 4 のときに、ビデオ信号の入力がない状態が 15 分続くと、自動的に電源を切ります。

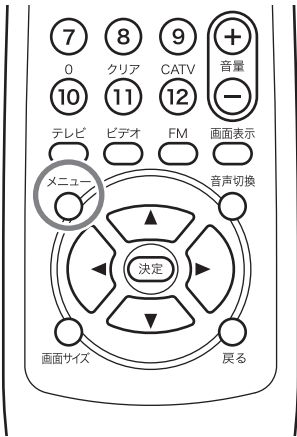
無操作電源オフ

リモコンや本体でのボタン操作がない状態が 3 時間続くと、自動的に電源を切ります。

これらの機能は､設定メニューの［省電力設定］で､それぞれの項目を［有効］に設定すると使えるようになります。

設定メニューのメニュー一覧

設定メニューでは、画質や音質の調整、チャンネル設定、FM 周波数設定、オンタイマーの設定など、
本機に関するさまざまな設定を行います。

設定メニューの呼び出しかた

メニュー
◯ **を押す**

設定メニューが表示されます。

設定メニューの表示中に メニュー ◯ を押すと、設定メニューが終了します。

設定メニュー一覧

メニュー	設定項目
映像	映像モード 明るさ 黒レベル コントラスト シャープネス 色の濃さ 色あい コントラスト拡張 詳細設定 初期設定に戻す

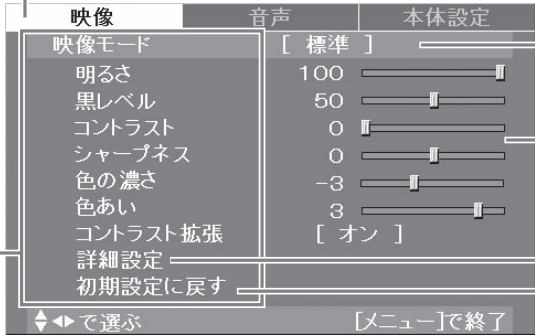
メニュー	設定項目
音声	音声モード バランス 高音 低音 TruBass BBE サラウンド AGC 初期設定に戻す

メニュー	設定項目
本体設定	省電力設定 明るさ自動調整 チャンネル設定 チャンネル選択方式 FM 周波数設定 現在時刻設定 オンタイマー ビデオ入力音声レベル

設定メニューの基本操作

メニュータブが選択状態(黄色表示)のときに ◀▶ を押すと、メニューを選ぶことができます。

▲▼ で設定項目を選び、(決定)を押します。

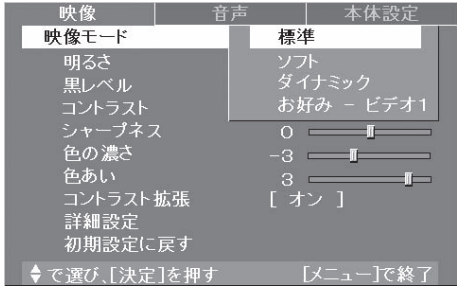
設定値を選ぶ項目で(決定)を押すと、選択メニューが表示されます。

▲▼ で設定値を選び、(決定)または◯(戻る)を押して決定します。

[初期設定に戻す]で(決定)を押すと、そのとき表示されているメニューの設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

❶ (決定)を押す

確認画面が表示されます。

設定をお買い上げ時の状態に戻しますか？

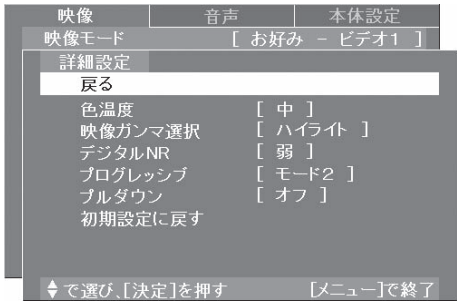
はい　いいえ

◀▶ で選び、[決定]を押す

❷ ◀▶ で[はい]を選び、(決定)を押す

数値を設定する項目で(決定)を押すと、調整メニューが表示されます。(調整メニューの表示中は設定メニューは表示されません)

明るさ　100

◀▶ で調整し、(決定)または◯(戻る)を押して決定します。

[詳細設定] で(決定)を押すと、詳細設定メニューが表示されます。

各項目の設定が終わったら、[戻る] を選んで(決定)を押すか、◯(戻る)を押して元のメニューに戻ります。

映像

映像モードを調整するメニューです。

項目説明一覧

お買い上げ時の設定では、それぞれの映像モード（[標準]、[ソフト]、[ダイナミック]、[お好み]）に合わせた設定がされていますが、好みに応じて変更することができます。

❖ 映像モードの設定（[お好み］を除く）は、すべての入力に共通した設定です。

はじめに［映像モード］で調整する映像モードを選び、各設定を調整してください。

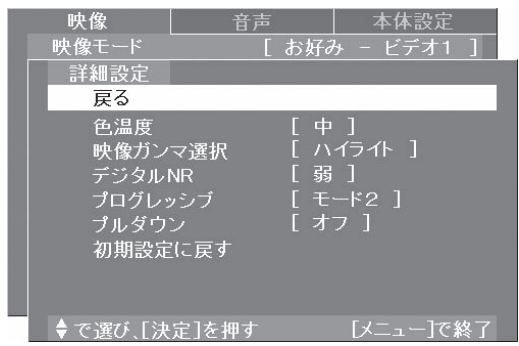
設定項目	設定値	説明
映像モード	標準	標準的な画質で表示されるように設定されています。
	ソフト	映画などのフィルム映像に適したソフトな表示に設定されています。
	ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。
	お好みー xxx※	入力ごとに専用の設定ができます。 お買い上げ時には、［標準］と同じ設定になっています。
明るさ	0 ～ 100	バックライトの明るさを調整します。値が高いほど明るく、低いほど暗くなります。
黒レベル	0 ～ 100	映像の黒色の状態を調整します。値が高いほど黒が明るくなり、低いほど黒の沈んだ映像になります。
コントラスト	0 ～ 100	映像の明暗を調整します。値が高いほど明暗がはっきりし、低いほど明暗の差が少なくなります。
シャープネス	－ 3 ～＋ 3	映像の輪郭を調整します。値が高いほど輪郭がはっきりし、低いほど輪郭がぼやけます。
色の濃さ	－ 50 ～＋ 50	映像の色の濃さを調整します。値が高いほど色が濃くなり、低いほど色が薄くなります。
色あい	－ 50 ～＋ 50	色相を調整します。［＋］方向では緑がかった映像になり、［－］方向では赤みがかった映像になります。
コントラスト拡張	オン / オフ	入力された信号に応じて、自動的にコントラストの調整を行います。 暗いシーンでも、黒浮きを抑えた明暗のはっきりした映像が得られます。
詳細設定		詳細設定メニュー（右ページ）を表示します。

※「xxx」には、設定メニューを呼び出したときに選んでいる入力が表示されます。

注意

- **［黒レベル］、［コントラスト］、［色の濃さ］、［色あい］の調整で、設定値を上げすぎたり下げすぎたりすると、画面が見づらくなる場合があります。**

❖ このメニューは、入力が FM ラジオのときは選択できません。

詳細設定メニュー

設定項目	設定値	説明
色温度	高 / 中高 / 中 / 中低 / 低	映像の白色温度を調整します。設定値が高いほど青みがかった白になり、低いほど赤みがかった白になります。
映像ガンマ選択	ハイライト / 標準 / ダーク	ガンマ補正の効かせかたを選びます。 ［標準］を選ぶと、標準的なガンマ補正（γ =2.2）を行います。 ［ハイライト］を選ぶと、明るい部分の階調を重視した補正を行います。（明るい部分の補正を行うと、画面が全体的に暗くなります） ［ダーク］を選ぶと、映像の暗い部分の階調を重視した補正を行います。（暗い部分の補正を行うと、画面が全体的に明るくなります）
デジタル NR	強 / 中 / 弱 / オフ	映像の暗部に発生する細かいノイズを低減する度合いを設定します。
プログレッシブ	モード 1/ モード 2/ モード 3	IP（インターレースープログレッシブ）変換の処理方法を選びます。 ［モード 1］は静止画と動画の中間設定で、自然な画像を表示します。 ［モード 2］は静止画をきれいに表示する設定で、画像のちらつきを軽減します。［モード 1］でちらつきが気になる場合に、［モード 2］にすると軽減することがあります。 ［モード 3］は動画に適した設定で、残像を軽減します。
プルダウン	オン / オフ	フィルム映像や CG を自然でなめらかに表示します。 なお、映像がすだれ状に見えたり動きがぎこちなく感じる場合［オフ］にすることで状態が改善されることがあります。

注意
- ［デジタル NR］の設定によっては、画面が見づらくなる場合があります。

音声

音声モードを調整するメニューです。

項目説明一覧

お買い上げ時の設定では、それぞれの音声モード（[標準]、[ドラマ]、[音楽]、[映画]）に合わせた設定がされていますが、好みに応じて変更することができます。

❖ 音声モードの設定は、すべての入力に共通した設定です。

はじめに［音声モード］で調整する音声モードを選び、各設定を調整してください。

設定項目	設定値	説明
音声モード	標準	標準的な音質で聞こえるように設定されています。
	ドラマ	ニュースやドラマなどの人の声が聞こえやすくなるように設定されています。
	音楽	低音から高音までをバランスよく聞こえるように設定されています。
	映画	迫力ある低音を再生し、かつ人の声が聞こえやすくなるように設定されています。
バランス	－6～＋6	左右のスピーカーの音量バランスを調整します。［－］方向では左側の音量が大きくなり、［＋］の方向では右側の音量が大きくなります。
高音	－6～＋6	設定値が高いほど高音域の音が強調され、低いほど高音域の音が弱くなります。
低音	－6～＋6	設定値が高いほど低音域の音が強調され、低いほど低音域の音が弱くなります。
TruBass	オン / オフ	TruBass 技術により、豊かな低音を再生します。
BBE	オン / オフ	減衰しやすい高音域分を補い位相補正することで本来の自然な音に近づけ、人の声などを聞きやすくします。
サラウンド	ワイド / TruSurround/ オフ	音の広がりを設定します。 ［ワイド］は音楽などのステレオ音声を聞くときに適した設定です。 ［TruSurround］は映画などのマルチチャンネル音声を聞くときに適した設定です。
AGC	オン / オフ	テレビ番組と CM との切り換え時に感じられる音量の違いを軽減します。（入力がビデオ、FM ラジオのときは調整できません）

注意

- **設定値を［オン］にしたり、高くしたりすると音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてみてください。ひずみが解消されることがあります。**

本体設定

省電力設定やチャンネル設定、FM 周波数設定など、本体についての設定を行うメニューです。

項目説明一覧

設定項目	設定値	説明
省電力設定		
無放送電源オフ	有効 / 無効	テレビを選んでいるときにテレビ放送がない（信号がない）状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源を切ります。お買い上げ時は、［有効］に設定されています。
無信号電源オフ	有効 / 無効	入力がビデオ 1 〜ビデオ 4 のときにビデオ信号の入力がない状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源を切ります。お買い上げ時は、［有効］に設定されています。
無操作電源オフ	有効 / 無効	リモコンや本体での操作がない状態が3時間続いた場合に、自動的に電源を切ります。お買い上げ時は、［有効］に設定されています。
明るさ自動調整	通常 / 暗 / オフ	［通常］を選ぶと、周りの明るさを監視し、バックライトの明るさを自動調整します。［暗］を選ぶと、少し暗めの表示となります。
チャンネル設定		
自動設定		テレビ放送とケーブルテレビのチャンネル設定を自動で行うことができます。 ➔ 設定のしかたについては、11 ページをご覧ください。
手動設定		テレビ放送とケーブルテレビのチャンネル設定を手動で行うことができます。また、チャンネル表示の設定や受信周波数の微調整などの詳細な設定もできます。 ➔ 設定のしかたについては、30 ページをご覧ください。
チャンネル選択方式	ダイレクト / 10 キー	リモコンの数字ボタンの役割を設定します。 「ダイレクト」を選ぶと、数字ボタンを押したときにそのボタンに割り当てられているチャンネルが表示されます。 「10 キー」を選ぶと、数字ボタンを押したときにその数字が入力されます。チャンネルの番号を直接指定して選ぶときには、10 キーに設定します。
FM 周波数設定		リモコンの数字ボタンに割り当てる FM ラジオ放送の周波数を設定します。 ➔ 設定のしかたについては、12 ページをご覧ください。
現在時刻設定		現在時刻を設定します。 （オンタイマー機能を使うときは、現在時刻を設定しておく必要があります） ➔ 設定のしかたについては、32 ページをご覧ください。
オンタイマー		設定した時刻になると自動的に電源を入れる（電源が入っているときは入力を切り換える）オンタイマー機能を設定します。 ➔ 設定のしかたについては、21 ページをご覧ください。
ビデオ入力音声レベル		ビデオ 1 〜ビデオ 4 の音声レベルを調整します。（テレビ放送、FM ラジオ放送の調整はできません） 例えば DVD プレーヤーを接続している場合、テレビ放送と DVD の映画では平均的な音声レベルが異なるため、DVD からテレビに切り換えたときに大音量になることがあります。このような場合には、DVD プレーヤーを接続している入力の音声レベルを上げると、音量差を軽減することができます。
ビデオ 1	− 4 〜＋ 4	
ビデオ 2	− 4 〜＋ 4	
ビデオ 3	− 4 〜＋ 4	
ビデオ 4	− 4 〜＋ 4	

本体設定（つづき）

チャンネル設定

❖ 自動設定のしかたについては、11 ページをご覧ください。

手動設定

1 本体設定メニューで［チャンネル設定］を選び、(決定)を押す

❖ テレビ以外の入力を選んでいるときは、(決定)を押すと入力がテレビに変わります。

■ 本体設定メニューの［チャンネル選択方式］（29 ページ）が［ダイレクト］の場合

リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルの設定を行います。

黄色表示が選択されている部分です

❶ ▲▼ を押して設定したい［リモコン］の数字ボタンを選び、(決定)を押す

❷ ◀▶ を押して設定項目（次ページ）を選ぶ

❸ ▲▼ を押して設定値を変更する

❹ すべての項目の設定が終わったら、(決定)を押す

選択部分が❶の状態に戻ります。

❖ 別の数字ボタンの設定を変更するときは、手順❶〜❹を繰り返します。

❺ (戻る)を押す

［手動設定］画面が終了します。

2 ［手動設定］を選び、(決定)を押す

［手動設定］画面が表示されます。

［手動設定］画面の操作のしかたは、次のとおりです。

■ 本体設定メニューの［チャンネル選択方式］が［10 キー］の場合

受信チャンネルに対するチャンネルの設定を行います。（この場合、リモコンの数字ボタンへのチャンネル割り当て設定はできません）

❶ ▲▼ を押して設定したい［受信 CH］を選び、(決定)を押す

❷ ◀▶ を押して設定項目（次ページ）を選ぶ

❸ ▲▼ を押して設定値を変更する

❹ すべての項目の設定が終わったら、(決定)を押す

選択部分が❶の状態に戻ります。

❖ 別の受信チャンネルの設定を変更するときは、手順❶〜❹を繰り返します。

❺ (戻る)を押す

［手動設定］画面が終了します。

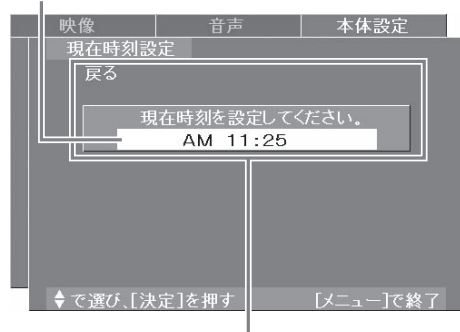
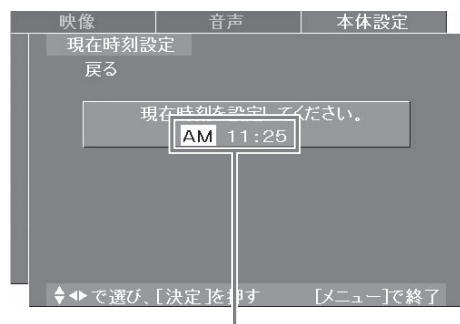
設定項目	設定値	説明
リモコン		● 本体設定メニューの［チャンネル選択方式］を［ダイレクト］に設定している場合 この設定項目を変更することはできません。 13 以降の数字はグレーで表示され、割り当てたチャンネルは、リモコンの チャンネル で選べます。（チャンネルは最大 18 局まで設定できます） ● 本体設定メニューの［チャンネル選択方式］を［10 キー］に設定している場合 この列には［－］が表示されます。
受信 CH		● 本体設定メニューの［チャンネル選択方式］を［ダイレクト］に設定している場合 リモコンの数字ボタンに割り当てる放送局（チャンネル）を選びます。 ［受信 CH］を変更すると、［表示 CH］は受信しているチャンネルの番号に、［微調整］は［自動］に、［スキップ設定］は［受信］に、自動的に設定されます。 ● 本体設定メニューの［チャンネル選択方式］を［10 キー］に設定している場合 この設定項目を変更することはできません。
表示 CH		チャンネルを切り換えたときや、画面表示 を押したとき（18 ページ）などに表示されるチャンネル番号を設定します。 設定できる番号は、「1 ～ 62」、「C13 ～ C63」です。 ［表示 CH］を変更すると、［微調整］は［自動］に、［スキップ設定］は［受信］に、自動的に設定されます。
微調整	自動 / － 32 ～＋ 32	受信する周波数を微調整することができます。［自動］に設定したチャンネルの映りが悪いときに調整すると、改善する場合があります。 設定値を変更すると、表示が［自動］から［手動］に変わり、［スキップ設定］は［受信］に、自動的に設定されます。
スキップ	スキップ / 受信	［スキップ］を選ぶと、リモコンの チャンネル や本体の ▼ **チャンネル** ▲ でチャンネルを切り換えるときに、そのチャンネルを表示しません。

現在時刻設定

本体設定メニューで［現在時刻設定］を選び、(決定)を押す

［現在時刻設定］画面が表示されます。

［現在時刻設定］画面の操作のしかたは、次のとおりです。

黄色表示が選択されている部分です

❶ ▲▼ を押して時刻を選び、(決定)を押す

❷ ◀▶ を押して設定項目（AM/PM、時、分）を選ぶ

❸ ▲▼ を押して時刻を設定する

❹ すべての項目の設定が終わったら、(決定)を押す

選択部分が❶の状態に戻ります。

❺ ▲▼ を押して［戻る］を選び、(決定)を押す

［現在時刻設定］画面が終了します。

トラブル時の対処

修理をご依頼になる前に、もう一度次の項目を確認してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

症状	原因や対処
電源が入らない	電源コードがコンセントや本体の電源コネクタからはずれていませんか？ ➔ 電源コードの接続を確認してください。（8 ページ）
リモコンの電源ボタンで電源が入らない	本体のリモコン受光部に向けていますか？ ➔ リモコン受光部に向けて電源ボタンを押してください。（4 ページ） 電池が消耗していませんか？ 電池を入れる方向が間違っていませんか？ ➔ 電池を確認してください。
リモコン操作ができない	電池が消耗していませんか？ 電池を入れる方向が間違っていませんか？ ➔ 電池を確認してください。
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。（5 ページ） チャンネルは設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。（29 ページ） ビデオや FM ラジオが選ばれていませんか？ ➔ 入力を確認してください。（13 ページ）
テレビ放送の映りが悪い	アンテナが劣化していませんか？ ➔ アンテナを確認してください。 アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。（5 ページ）
ケーブルテレビが映らない	受信契約はお済みですか？　受信契約とケーブル引込工事がされていないと、ケーブルテレビの視聴はできません。 チャンネルは設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。（29 ページ） 契約されているチャンネルですか？　スクランブルのかかっているチャンネルは、契約されていないと視聴できません。
映像が乱れる	近くで携帯電話を使っていませんか？ ➔ 携帯電話の使用場所や備えつけ場所を変えてみてください。 映像信号ケーブルが断線しかかっていませんか？ ➔ ケーブルの状態を確認してみてください。ケーブルを触ったり振ったりしたときに映像が乱れる場合は、ケーブルが断線していることがあります。
画面にはん点が出る	自動車やオートバイ、電車、高圧線、ドライヤー、蛍光灯などが発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 設置場所を変えてみてください。
画面にしま模様が出たり、色が消えたりする	他のテレビやパソコン、AV 機器、電子レンジなどの電子機器が発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 本機や電子機器の設置場所を変えてみてください。
チャンネルや入力を切り換えたときに一瞬画面が黒くなる	チャンネルや入力を切り換えるときに発生する画像の乱れを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。故障ではありません。

トラブル時の対処（つづき）

症状	原因や対処
FM ラジオが入らない	FM 用のアンテナを設置していますか？　FM ラジオを受信するには、FM 専用アンテナまたは FM・1 ～ 3ch 用アンテナが必要です。 FM ラジオ放送の周波数は設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。（29 ページ）
FM ラジオの受信状態が悪い	FM 用のアンテナを設置していますか？　FM ラジオを受信するには、FM 専用アンテナまたは FM・1 ～ 3ch 用アンテナが必要です。 FM ラジオ放送の周波数は正しく設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。（29 ページ） 遠くの FM ラジオ放送を受信しようとしていませんか？　サービスエリア外では良好に受信できません。
音が出ない	ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されていませんか？ 消音にしていませんか？ 音量が最小になっていませんか？ ➔ 音量を確認してください。（10 ページ）
接続した AV 機器の映像や音声が出ない	AV 機器は正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。（7 ページ） 映像入力端子に入力される信号を表示する場合、S 映像入力端子にケーブルが接続されていると、映像は表示されません。 機器を接続した入力を選んでいますか？ ➔ 入力を確認してください。（17 ページ） 接続した AV 機器は正常に動作していますか？ ➔ AV 機器の動作を確認してください。
AV 機器の早送りや早戻し、静止などの特殊再生で映像が乱れる	ハイビジョン対応以外のビデオや、TBC（タイムベースコレクタ）が装備されていない機器を接続したときに、症状が発生する場合があります。
入力を切り換えると音量が変わる（入力によって音量に差がある）/ 接続した DVD などからテレビ放送に切り換えると大音量になる	テレビ放送や外部機器（DVD など）によっては、平均的な音声レベルが異なるために、音量が変化します。 ➔ 音声レベルの設定を確認してください。（29 ページ）
映像モードが選べない	FM ラジオにしていませんか？　その場合は映像モードは選べません。
画面サイズが切り換えられない	FM ラジオにしていませんか？　その場合は画面サイズは切り換えられません。 入力された信号のフォーマットが 1125i（1080i）や 750p（720p）の場合には、画面サイズがフルサイズに固定され、切り換えることができません。
ステレオ / モノラルや音声多重の切り換えができない	消音にしていませんか？　その場合は音声の切り換えはできません。 モノラル放送ではありませんか？　モノラル放送の場合は音声の切り換えはできません。 テレビまたは FM ラジオ以外の入力を選んでいませんか？　テレビや FM ラジオ以外では音声の切り換えはできません。

症状	原因や対処
突然電源が切れた	オフタイマー機能を使っていませんか？ 設定メニューで電源オフ機能を設定していませんか？ ➔ 設定メニューを確認してください。（29 ページ） オンタイマー機能を使っていませんか？　本機の電源が切れている状態からオンタイマー機能で電源が入ったときは、1 時間後に自動的に電源が切れます。
突然電源が入った	オンタイマー機能を使っていませんか？ ➔ オンタイマーを押して設定を確認してください。
本体上部や液晶パネル面が熱くなる	本体上部や液晶パネル面は温度が高くなりますが、故障ではありません。また、性能、品質には問題ありません。
画面が変わっても、変わる前に表示されていた画像の残像が表示される	静止画状態が続くと、画面を切り換えたときに静止していた画像が残像となって見える場合がありますが、しばらくすると消えていきます。液晶パネルの特性であり故障ではありません。

クリーニングについて

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意
- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

■ キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

■ 液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

❖ パネル面のクリーニングには EIZO ScreenCleaner（別売品）のご利用をおすすめします。

内部にほこりがたまると、故障や火災の原因となることがあります。年に１度は内部の掃除、点検を販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

仕様一覧

表示部	
液晶パネル	19V 型ワイド
画面寸法	412.8mm（幅）× 247.68mm（高さ）
表示画素数	1280 ドット× 768 ライン
画素ピッチ	0.3225mm（幅）× 0.3225mm（高さ）
表示色	1677 万色
視野角	上下 170 度、左右 170 度（CR ≧ 10：1）

テレビ / ラジオ	
受信チャンネル / 周波数	VHF 1 ～ 12 チャンネル UHF 13 ～ 62 チャンネル CATV C13 ～ C63 チャンネル FM 76.1 ～ 89.9MHz

音声	
スピーカー	φ50mm × 2
実用最大出力	3W ＋ 3W（JEITA）

入出力端子	
アンテナ入力端子	VHF/UHF 75 Ω F 型コネクタ
S 映像入力端子※1	DIN ミニ 4 ピン 2 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：0.28Vp-p/75 Ω
映像入力端子※1	ピンジャック 2 系統 1.0Vp-p/75 Ω
コンポーネント映像入力端子	D 端子 2 系統 対応フォーマット※2：525i（480i）、525p（480p） Y：1.0Vp-p/75 Ω、Cb、Cr：0.7Vp-p/75 Ω
音声入力端子	ピンジャック 4 系統
ヘッドホン出力端子	φ3.5mm ステレオミニジャック 1 系統

※ 1 S 映像入力端子と映像入力端子の両方に接続した場合は、S 映像入力端子からの映像が表示されます。

※ 2 1125i（1080i）および 750p（720p）の信号が入力された場合、画面は表示されますが、ハイビジョン画質では表示されません。

電源	
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	74W スタンバイ時 約 0.9W

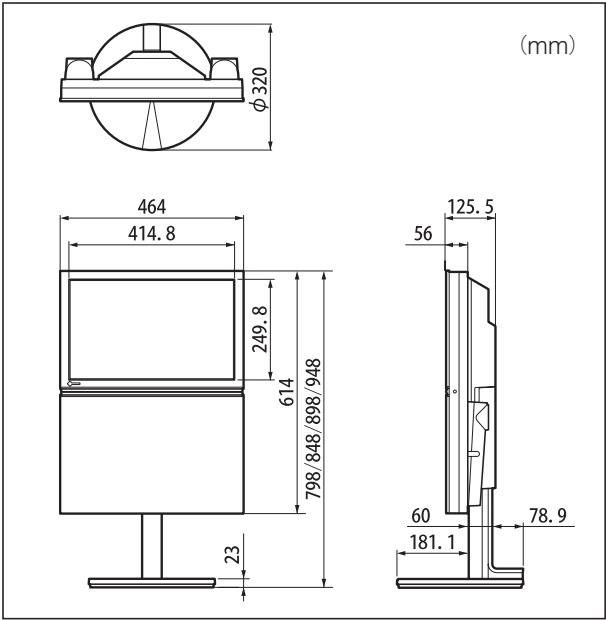
仕様一覧（つづき）

外形寸法	
スタンド含む	464mm（幅）× 798 ～ 948mm（高さ）× 320mm（奥行き）
スタンド除く	464mm（幅）× 614mm（高さ）× 125.5mm（奥行き）

重量	
スタンド含む	15.0kg
スタンド除く	10.5kg

環境	
動作範囲	0 ～ 35℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）
保存範囲	− 20 ～ 60℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）

適合規格
● 電気用品安全法

■ 外形寸法図

D 端子の種類と対応映像信号（参考）

	525i（480i）	525p（480p）	1125i（1080i）	750p（720p）
D1	○	−	−	−
D2	○	○	−	−
D3	○	○	○	−
D4	○	○	○	○

❖ 本機は、525i（480i）、525p（480p）の信号に対応しています。
1125i（1080i）および 750p（720p）の信号が入力された場合、画面は表示されますが、ハイビジョン画質では表示されません。

用語集

BBE（28 ページ）

本機には、音響を改善するための BBE 回路が搭載されています。BBE 回路は、米国 BBE サウンド社が開発したもので、スピーカーから出力される際に起こる高域、中域、低域の時間的なずれを減らし、また、減衰した高域を補正することで、スピーカーから聞こえる音をオリジナルの音に近づけることができます。

D 端子（6、7 ページ）

デジタル放送に対応するために開発されたコンポーネント映像端子で、DVD プレーヤーやデジタル放送チューナーに搭載されています。
D 端子には、やりとりできる信号により D1 から D4 までの端子規格があります。D1 が通常のテレビ放送、D3 以上がハイビジョン放送に対応しています。現行の BS デジタルハイビジョンの信号は、D3/D4 規格になっています。

TruBass（28 ページ）

原音に含まれる信号を利用して差成分を作りだし、その差成分で脳に低音を感知させる技術です。スピーカーの最低再生可能周波数以下の低音でも、再生できる周波数帯域の高調波を有効に活用して再生することができます。

TruSurround（28 ページ）

Dolby Digital、DTS、AAC などのマルチチャンネルサラウンドを前方に配置した 2 つのスピーカーのみで再現するドルビーラボラトリーズ公認のバーチャルサラウンドシステムのことです。

ガンマ補正（27 ページ）

入力される映像信号の電圧の強さと画面の明るさの関係をグラフにすると、直線とはならず緩やかな曲線を描いて変化します。この曲線の曲がり具合を表す数値をガンマ（γ）値と呼びます。黒レベルから白レベルの出力階調特性を任意の値に設定することをガンマ補正といい、暗部や明部の階調を重視したガンマ補正をかけると、一般的には S 字カーブの曲線を描きます。

デジタル NR（ノイズリダクション）（27 ページ）

画面に現れるノイズを軽減する機能です。前のフレームと新しいフレームとを比較し、ノイズを検出して除去します。ただし、動きの激しいシーンなどでは、正確にノイズを除去することができない場合があります。

レターボックス（19 ページ）

劇場映画をビデオソフトに収録するときの方法のひとつです。通常、映画の画面サイズには、ビスタサイズ（1:1.66 または 1:1.85）かシネマスコープサイズ（1：2.35）が使われています。このような映画をビデオ化する際に、画面の両端をカットせずに映像情報をすべて収録する手法がレターボックスです。そのため、レターボックスの映画ソフトを 4：3 のテレビで見ると、上下に黒い帯が入ります。

IP 変換（27 ページ）

画面の走査処理を I（インターレス）から P（プログレッシブ＝ノンインターレス）に変換する技術です。DVD などデジタル処理されたビデオ信号で、ちらつきを軽減するなど、より高品質な画面を表示するために用いられます。

索引

A
AGC 28

B
BBE 28,39

D
D 端子 6,7,39

F
FM 周波数設定 12,29
FM ラジオ 12,15

I
IP 変換 27,39

T
TruBass 28,39
TruSurround 28,39

V
VHF/UHF アンテナ入力端子 x

あ
明るさ 26
明るさ自動調整 29
アフターサービス 43
アンテナ線の接続 5

い
色あい 26
色温度 27
色の濃さ 26

え
映像ガンマ選択 27
映像モード 26
エイゾーサポート 43

お
オフタイマー 22
音声切換 20
音声モード 28
オンタイマー 21,29
オンタイマーランプ ix
音量 10

か
外部機器の接続 6
画面サイズ 19
画面表示 18
ガンマ補正 27,39

く
黒レベル 26

け
ケーブルテレビ 14
現在時刻設定 29,32

こ
高音 28
コントラスト 26
コントラスト拡張 26

さ
サラウンド 28

し
シャープネス 26
周波数 12,16
修理 41
消音 20
省電力設定 29

す
スキップ 31
スタンドの高さの調節 2

せ
設定メニュー 24

ち
チャンネル 13
チャンネル設定 11,29,30
チャンネル選択方式 29

て
低音 28
デジタル NR 27
デジタルチューナーの接続 6
デジタル NR 27,39
電源オフ機能 23
電源コードの接続 8
電源入力端子 x
電源ランプ ix,10
電源を入れる 10
電源を切る 10
転倒防止の処置 9

に
入力切換 13,15,17

は
バランス 28

ひ
ビデオ入力 1、2、3、4 x
ビデオ入力音声レベル 29
ビデオの接続 7

ふ
付属品 1
プルダウン 27
プログレッシブ 27

ほ
保証書 1,41

り
リモコンホルダー x,4

れ
レターボックス 19,39

保証書とアフターサービスについて

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。

■ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 3 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低 8 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

■ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

［保証期間中の場合］

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

［保証期間を過ぎている場合］

お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはエイゾーサポート（裏表紙記載）までお願いいたします。

■ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例：S/N 12345678）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■ 廃棄および回収・リサイクルについて

本製品の電子部品、プリント基板、金属部品などには重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、セレン、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、廃棄および回収・リサイクルにお出しください。

個人のお客様

本製品は「家電リサイクル法」対象外のため、自治体の指示に従って廃棄ください。

法人のお客様

本製品は、法人ユーザー様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、弊社にてお客様の費用負担でお引取りいたします。詳細についてはエイゾーサポートまでお問い合わせください。また、弊社のホームページ（http://www.eizo.co.jp/）もあわせてご覧ください。

［エイゾーサポート］

電話での問い合わせ受付

TEL 076-274-7369（法人向け回収・リサイクル専用電話）

月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日をのぞく）9：30 ～ 17：30

FAX での問い合わせ受付

FAX 076-274-2416

長年ご使用のテレビの点検を！	テレビセットを長期ご使用になりますと、内部のほこりなどの堆積によって故障する場合があります。	愛情点検

このような症状はありませんか？	● 電源を入れても映像や音が出ない ● 映像が時々消える ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする ● 製品内部に水や異物が入った ● 電源を切っても映像や音が消えない	ご使用中止	すぐに電源プラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ず販売店またはエイゾーサポートに点検をご相談ください。

故障 / 修理に関するお問い合わせ先

● エイゾーサポート

電話でのお問い合わせ受付　本社：**076-274-2474**　東京：**03-3458-7737**　大阪：**06-6396-0357**

営業時間：9:30 ～ 17:30（月曜日～金曜日）／ 10:00 ～ 17:00（土曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

FAX でのお問い合わせ受付　**076-274-2416**

製品に関するお問い合わせ先

● EIZO コンタクトセンター　**0120-956-812**

受付時間：9:30 ～ 18:00（月曜日～金曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

〒924-8566　石川県白山市下柏野町153番地

www.eizo.co.jp

環境保護のため、再生紙を使用しています。

初版　2005年10月　Printed in Japan.

00N0L184A1